品名：防水10.1インチフルセグTV搭載DVDプレーヤー
型番：EB-XS101W

取扱説明書　保証書添付

X-STYLE

この度は本製品をお買い上げ頂きまして、誠にありがとうございます。

●本機の性能を十分に発揮させると共に、永年支障なくお使い頂くために、ご使用前にお読みください。お読みになった後は、保証書付ですので大切に保管し、必要に応じてご利用ください。
●保証書に、「お買い上げ日、販売店名」などの記入があるかを必ずお確かめください。

はじめに
●安全上のご注意
●同梱品一覧
●本体各部の名称
●リモコンの使い方
●接続と充電

SD・USB DVDを見る
●DVDを見る/CDを聞く
●ディスクの再生/設定
●SD/USB
●MP3・WMA/JPEGの再生
●CDを録音する

車載用バッグ テレビを見る
●テレビ放送の準備
●mini B-CASカードを入れる
●フルセグとワンセグの切換
●初回起動時の設定と操作
●受信できない場合
●車載用バッグについて

製品仕様 困った時
●故障かな？と思ったら
●製品仕様

保証書 サポート
●保証条件の内容
●保証書/サポート情報

はじめに／もくじ

■はじめに

もくじ ・・・

■安全上のご注意　【必ずお読みください】

ご使用の前にこの「取扱説明書」をよくお読みの上、正しくお使いください。
お読みになったあとはいつでも見られる所に必ず保管してください。

絵表示について

この「安全上のご注意」は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が障害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。

禁止の行為であることを告げるものです。

行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

⚠ 警告

異常や故障のとき

■万一、本体から煙が出ていたり、変なにおいがする時はすぐに電源をきり、ACアダプターをコンセントから抜くこと。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。煙が出なくなるのを確認し、サポートセンターにご連絡ください。本機は、ACアダプターをコンセントからすぐに抜ける場所でお使いください。

■落としたり、キャビネットを破損したときは、すぐに電源を切り、ACアダプターをコンセントから抜くこと。
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。サポートセンターに点検をご依頼ください。
本機は、ACアダプターをコンセントからすぐに抜ける場所でお使いください。

■内部に水や異物が入ったら、すぐに電源を切り、ACアダプターをコンセントから抜くこと。
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。サポートセンターに点検をご依頼ください。
本機は、ACアダプターをコンセントからすぐに抜ける場所でお使いください。

■電源コードが傷んだり、ACアダプターが発熱した時は、すぐに電源を切り、ACアダプターが冷えたのを確認してコンセントから抜くこと。
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。サポートセンターに点検をご依頼ください。
本機は、ACアダプターをコンセントからすぐに抜ける場所でお使いください。

ご使用になるとき

■修理・改造・分解はしないこと。
火災・感電の原因となります。
修理・点検はサポートセンターにご依頼ください。

■内部に異物をいれないこと。
クリップ、ヘアピンなどの金属類や紙などの燃えやすいものが内部に入った場合、火災・感電の原因になります。
特にお子様のいるご家庭では、ご注意ください。

■航空機内で使用するときは、航空会社の指示に従うこと。
航空法で、離着陸時に本機を使用することは禁止されています。指示に従わず使用すると、運行装置に影響を与える、事故につながるおそれがあります。

■ピックアップレンズに目を近づけたり、レーザー光を見つめたりしないこと、視力障害の原因となります。

■雷が鳴り出したら、本機に触れないこと、感電の原因になります。

■歩行中や乗り物を運転しながら使用しないこと。
交通事故の原因になります。
車などでお使いのときは、車が停止している時にお使いください。

■水にぬらしたりしないこと。
火災・感電の原因となります。
雨天・降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

⚠ 注意

ご使用になるとき

■ふたを閉めるとき、手を入れないこと。
手をはさみ、けがの原因となることがあります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

■ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないこと。
耳を刺激するような大きな音量で聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

■電源をいれる前には音量を最小にすること。
電源を入れる前には、接続しているテレビなどの音量を最小にしておいてください。突然大きな音が出て聴力障害などの原因になることがあります。

■ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しないこと。
ディスクは本機内で高速回転しますので、飛び散ってけがや故障の原因となります。

■回転中のディスクには触れないこと。
ふたを開いた時、ディスクの回転が完全に停止していないことがあります。
回転しているディスクに触れるとけがや故障の原因となります。

■画面が破損し、液体が漏れてしまった場合は、液体を吸い込んだり、飲んだりしないこと。
中毒を起こすおそれがあります。
万が一口や目に入ってしまった場合は、水で洗い流し、医師の診療を受けてください。手や服についてしまった場合は、アルコールなどでふき取り、水洗いしてください。

設置されるとき

■ひざの上などで使用しないこと。
本機は多少温度があがります。膝の上などでのご使用は低温やけどの原因となります。自覚症状の伴わない低温やけどになる場合もありますので、特に肌の弱い方はご注意ください。

■上に物を置かないこと。
●金属類や、花びん、コップ・化粧品等の液体が内部に入った場合、火災・感電の原因となります。
●重いものなどが置かれて落下した場合、けがの原因となります。

■ぐらつく台の上や傾いた場所など、不安定な場所や振動のある場所に置かないこと。
本機が落ちて、けがの原因となります。

本製品は家庭用電化製品ですので、業務用のディスプレイや3時間以上連続しての使用は、保証対象外となりますので、ご注意ください。

⚠ 注意

■風通しの悪い場所に置かないこと。
内部温度が上昇し、火災の原因となることがあります。
●じゅうたんや布団の上に置かないでください。
●テーブルクロス・カーテンなどを掛けたりしないでください。
●押し入れや本箱など風通しの悪い場所に押し込まないで下さい。
●壁に押し付けないでください。

■湿気・油煙・ほこりの多い場所に置かないこと。
加湿器・調理台のそばや、ほこりの多い場所などに置くと、火災・感電の原因となる場合があります。

■温度の高い場所に置かないこと。
直射日光の当たる場所・閉めきった自動車内・ストーブのそば等に置くと、火災感電の原因となることがあります。また、破損、その他部品の劣化の原因となります。

■移動させる場合は、ACアダプター・外部との接続コードをはずすこと。
ACアダプターを抜かずに運ぶと、コードが傷付き、火災・感電の原因となります。
接続コード等を外さずに運ぶと、本機が落下し、けがの原因となることがあります。

⚠ 警告

ACアダプターと電源コードについて

■ACアダプターは家庭用交流100Vのコンセントに接続すること。

■ACアダプターを分解・改造・修理しないこと。
火災・感電の原因となります。

■電源コードは
●傷つけたり、延長するなど加工したり、加熱したりしないこと。
●引っ張ったり、重いものを乗せたり、はさんだりしないこと。
●無理に曲げたり、ねじったり、束ねたりしないこと。

■時々電源プラグを抜き、刃や刃の取付け面に、ゴミやほこりが付着している場合はきれいに掃除すること。
電源プラグの絶縁低下によって、火災の原因となります。

⚠ 注意

■通電中のACアダプターに布団を掛けたり、暖房機器の近くやホットカーペットの上に置かないこと。
火災・故障の原因となります。

■ACアダプターは付属の物を使用すること。
指定以外のACアダプターを使用すると、火災・故障の原因となります。

■付属のACアダプターを本機以外の他の用途に使用しないこと。
火災・故障の原因となります。

■ACアダプターはコンセントの奥まで、確実に差し込むこと。
火災・故障の原因となります。

■ACアダプターをコンセントから抜く時は、コードを引っ張って抜かないこと。
コードを引っ張って抜くと、コードが傷つき感電の原因となりますので、プラグを抜差ししてください。

■旅行などで長時間ご使用にならないときは、安全のためACアダプターはコンセントから抜くこと。
万一故障した時、火災の原因となることがあります。

■濡れた手でACアダプターのプラグの抜差しをしないこと。
感電の原因となります。

充電池について

⚠ 危険

■プレーヤーの使用中、充電中、保管時に異臭、発熱を感じたり、変色、変形、その他の異常に気が付いた時は、すぐに使用を中止し、販売店または弊社サポートセンターへご連絡ください。

■本機には、充電池が内蔵されています。
本機に釘を刺したり、カナヅチで敲いたり、踏みつけたりしないこと。

■本機には、充電池が内蔵されています。
本機を加熱・分解したり、火の中へ投入したりしないこと。破裂・火災の原因となります。

■充電の際に、所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電をおやめになり、販売店または弊社サポートセンターへご連絡ください。

■所定の充電時間（通常：約4時間）を超えて充電しないでください。充電が完了したら、電源を取り外してください。
発熱・破裂・発火の原因となります。

■電子レンジ・高圧容器にいれたり、電磁調理器の上に置かないで下さい。

■指定した充電方法以外で、充電しないこと。破裂・発火の原因となります。

■充電式電池は、温度0℃～40℃の環境で使用してください。

■充電は目の届く、周囲に燃えやすいものがない場所で行ってください。

⚠ 警告

コイン型電池について

■コイン型電池は、幼児の手の届く場所には置かないこと。
お子様が飲み込んだりすると、中毒の原因となります。もし、飲み込んだ場合、直ちに医師に相談してください。

■リモコンに使用している電池は
●指定以外の電池は使用しないこと。
●極性表示「+」「−」を間違えて挿入しないこと。
●充電、過熱・分解したり、火の中に入れないこと。
●表示されている使用推奨期限を過ぎたり使い切った電池をリモコンに入れて置かないこと。

⚠ 危険

車載用DCアダプターについて

禁止

■走行中に使用しないこと。
交通事故の原因となります。

禁止

■運転操作の防げになる場所や、運転装置に触れる場所に置かないこと。
交通事故の原因となります。

禁止

■エアバッグの動作を防げる場所に置かないこと。
エアバッグシステムが正常に作動せず、事故の原因となります。

禁止

■運転者の視界を防げる場所に置かないこと。
交通事故・けがの原因となります。

⚠ 警告

禁止

■コード類がシートのレールや、ドア、窓などの稼働部分にはさまれないようにすること。
コードが傷つくと、火災・感電の原因となります。

禁止

■分解・改造しないこと。
火災・感電の原因となります。
シガーライターソケットやその周辺も改造して使用しないでください。

⚠ 注意

禁止

■付属の車載用DCアダプター以外は使用しないこと。

禁止

■濡れた手で車載用DCアダプターをシガーライターソケットに抜き差ししないこと。また、液体をこぼしたりしないこと。
感電の原因となります。

禁止

■車載用DCアダプターのプラグはシガーライターソケットと、本機電源入力端子にしっかり差し込むこと。
これを守らないと発煙・火災の原因となります。

禁止

■24V車で使用しないこと。
車載用DCアダプターはDC12Vマイナスアース車専用です。これを守らないと、火災の原因になります。必ず車の取扱説明書でご確認ください。

禁止

■通電中の車載用DCアダプターに長時間触れないこと。
車載用DCアダプターの温度が上がるため、長時間皮膚に触れていると、低温やけどなどの原因となります。使用後のシガーライターソケットは熱くなっていますので、注意してください。

⚠ 危険

防水について

ディスク/外部入力端子カバーをしっかりと閉じた状態の本体と付属のリモコンは、IP×6級耐水相当の防水性能を有しております。雨や水しぶきのかかる場所でも使用できる使用になっておりますが、全ての状況での動作を保証するものではありません。以下の点に、十分にご注意ください。

禁止 ■本体がぬれている状態では、絶対に充電しないでください。感電や回路のショートなどによる火災・故障の原因となります。

禁止 ■浴室など水まわりでご使用のときは、ACアダプターや他の機器との接続はしないでください。感電や回路のショートなどによる火災・故障の原因となります。

⚠ 注意

禁止 ■本機の防水性能は、常温(5-35℃)の真水・水道水のみに対応しております。以下の例のような液体をかけたり、浸したりしないでください。また、砂や泥なども付着させないでください。
例：石鹸水・洗剤・入浴剤の入った水・海水・プールの水・温泉・熱湯・薬品・汗等。

禁止 ■強い水流（6リットル/分を超える）や高い水圧を直接かけたり、水面に落下させたり、水中に沈めたりしないでください。

禁止 ■周囲温度5-40℃（ただし、36℃以上はお風呂場などでの一時的な使用に限る）、湿度36-90%の範囲内でご使用ください。

禁止 ■ディスク、外部入力端子カバーを開閉する前に、十分に水滴をふき取り、水のかかる恐れのない場所に運んでから乾いた手で行ってください。

禁止 ■浴室など湿度の高い場所での保管や長時間の放置はしないでください。

禁止 ■浴室など水まわりで使用するときは、付属の台座を使用し、画面が垂直になるように設置してください。

禁止 ■浴室など水まわりでは、USB/SDは使用しないでください。

禁止 ■本体とリモコン以外の付属品は防水機能を有しておりません。水にぬれるような場所では、使用しないでください。

禁止 ■急激な温度変化は結露の原因になります。寒いところから、暖かい浴室などに持ち込むときは本体が常温になってからにしてください。

禁止 ■熱湯、サウナ、熱風（ドライヤー）などは使用しないでください。

禁止 ■落下させるなど本体に強い衝撃を与えないでください。防水機能が維持できなくなる場合があります。

禁止 ■水まわりから移動するとき、すきまに水がたまっている場合がありますので、やわらかい布でふき取ってください。

禁止 ■ディスク、外部入力端子カバーのまわりのゴムパッキンは、防水機能を維持するための重要な部品です。汚れや傷がつかないようご注意ください。また、ごみが付着した場合は、水のかからない場所でやわらかい布でふき取ってください。

禁止 ■故意に水中で使用したり、ディスク、外部入力端子カバーを開いた状態で使用すると内部に水が入ります。水の浸入による故障については保証対象外となります。

■使用上のご注意　【必ずお読みください】

本体に水がかかった場合の対処法

本体に水がかかった場合は、下記の箇所を特に注意して、すぐに水滴をふき取ってください。

表面

スピーカーに水がかかると音量が小さくなる恐れがございます。
しっかりと水滴を拭き取ってください。

裏面

裏面を手前にして、裏面の水滴を拭いてから、ディスクカバーを開け、ディスクカバーロック、ディスクカバーの裏面、ゴムパッキン外回りの水滴を拭く。

本体左側

（端子カバーを開け、水滴を拭く）

端子カバー ⟶

本体右側

フタの閉め方の注意

**フタを閉めて、さらに強く押し、つめをあげてロックします。
しっかりツメがあがっているのを確認ください。**

端子カバーを開け、カバーとゴムパッキンの両側の水滴を拭く

■再生できるディスク

このプレーヤーでは、以下の仕様のディスクを使用できます。

ディスク名称	記録内容	ディスクのサイズ
DVDビデオディスク	映像+音声	12cm
音楽用CD	音声	12cm

また、以下のディスクも再生することができます。

・DVDビデオフォーマットのDVD-Rディスク

・CD-DVフォーマット(音楽用CD)のCD-R/CD-RWディスク

・MP3またはJPEG形式のファイルが記録されたCD-R/CD-RWディスク

※ 上記のディスクであっても、ディスクの相性、データの作り方等によって再生できない場合があります。

※ DVD-R/RWディスクの場合はVRモードで録画を行い、最後にファイナライズという処理を行わないと再生できません。詳しくはディスクに録画を行ったDVDレコーダーやPC等 の取扱説明書をお読みください。

※ 本製品はVRモードで記録されたディスクを再生することができます。

※ 本機は標準で録画されたディスクを再生することができます。

■再生できないディスク

以下のディスクは、このプレーヤーでは再生できません。

●リージョンコードがあっていないもの。

（ディスクのケースに印刷されているリージョンコードの番号をお確かめください。日本は です。）

●DVD-R/RW、CD-R/RWに入っているPCアプリケーションソフト等は実行されません。

●パソコン専用のCD-ROM

●パソコン用OS(基本ソフト)でフォーマットされたCD-MP3ディスク

●Blu-ray、HD DVD、DVDオーディオ、DVD－RAMなどのディスク

●AVCHD方式やAVCREC方式、HD Rec方式で記録されたディスク

●2層式ディスク(DVD－R DL)の再生はサポートしていません。

●CD－R/RW、DVD-R/RWでファイナライズされていないディスク

■ディスク機能のマークについて

ディスクやパッケージには、次のようなマークが表示されています。

このようなマークの表示されているディスクが対応できます。

DVDビデオ

音楽用CD

Mp3

Dolby Digital

KODAK picture CD

音声トラック数

字幕数

アングル切換

スクリーンサイズ

ズーム機能

ディスクによって、搭載されている機能が違いますので、パッケージでご確認ください。

同梱品一覧

プレーヤーをご使用頂く前に、以下の内容物が全て揃っていることをご確認ください。

※ イラストは実物と異なる場合があります。
※ 製造時には十分に注意を払っておりますが、液晶パネルには画面の一部が点灯しなかったり、常時点灯する画素が発生することがあります。また、見る角度によって色や明るさにムラが生じることがありますが、製品の動作には影響はありませんので、あらかじめご了承ください。

プレーヤー本体

取扱説明書（本書）

車載用バッグ

鉄板プレート

mini B-CASカード

ACアダプター
（電源コード）

AVケーブル

イヤホン

車載用
DCアダプター

リモコン・電池・
専用道具

ケーブル付き
アンテナ

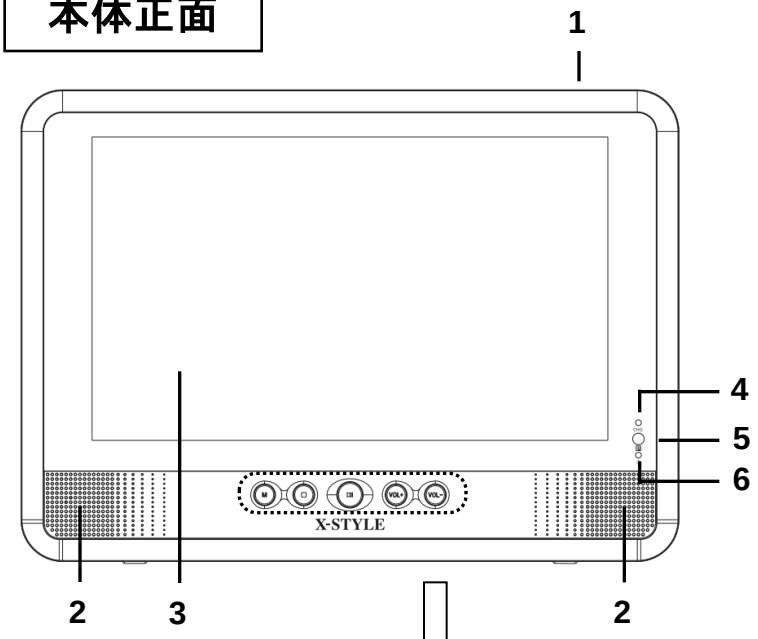
UHF変換器具

※ 同梱されるリモコン用の電池はテスト用です。早めに新品と交換してください。

（注）:

- ●車載用DCアダプターをご使用になる時はエンジンをかけてから接続してください。
- ●車載用DCアダプターをご使用になる時は安全な場所に車を停めてからご使用ください。
- ●車載用DCアダプターをご使用になる時はきちんと奥まで差しこまれているかご確認ください。
- ●本製品はDC IN 12Vバッテリー使用の自動車専用です。
- ●マイナスアース車専用です。プラスアース車には使用できません。
- ●自動車のシガレットライターソケットの形式・寸法によっては、本製品を取り付けられないことがあります。

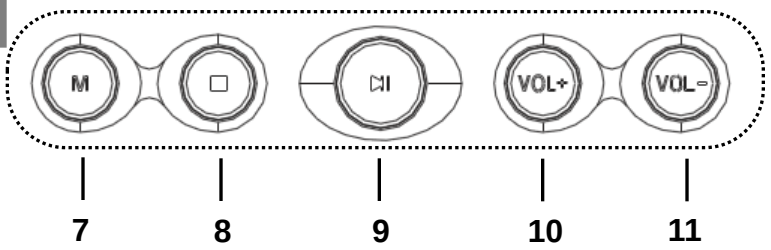
本体正面



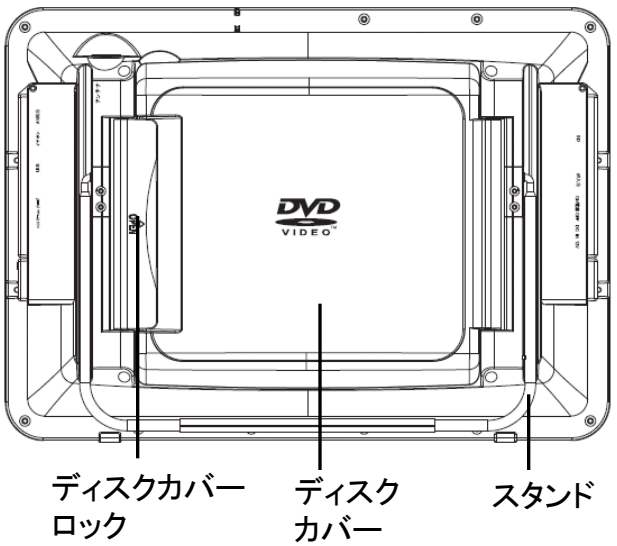
1、アンテナ端子
2、スピーカー
3、液晶画面
4、充電LEDランプ
　充電中：　緑色に点滅します。
　充電完了：緑色に点灯します。
5、リモコン受光部
6、電源LEDランプ
　電源が入ると赤く点灯します。

7、Mボタン
　DVD再生/TV/AV　IN機能に切換える際に使用します。
8、「 □ 」ボタン：
　再生を停止します。
9、「 ⏯ 」ボタン：
　再生を開始します。
　再生中押すと再生を一時停止 します。
10、VOL+ボタン：
　音量を上げます。
11、VOL−ボタン：
　音量を下げます。

本体ボタン



本体背面

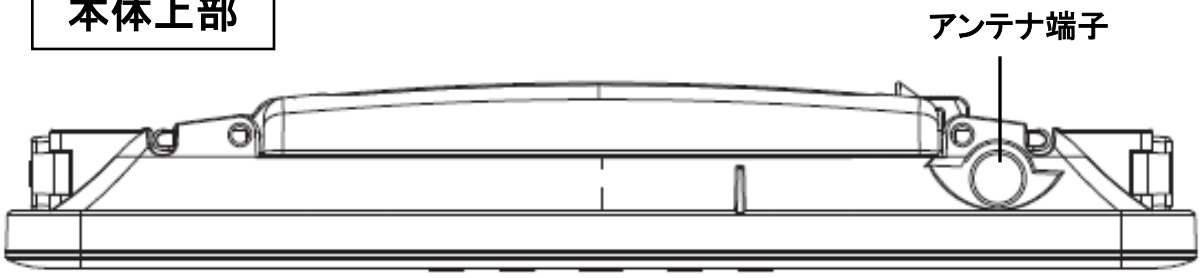


ディスクカバーを開く：
ディスクカバーロックを引き上げると、ディスクカバーが開きます。

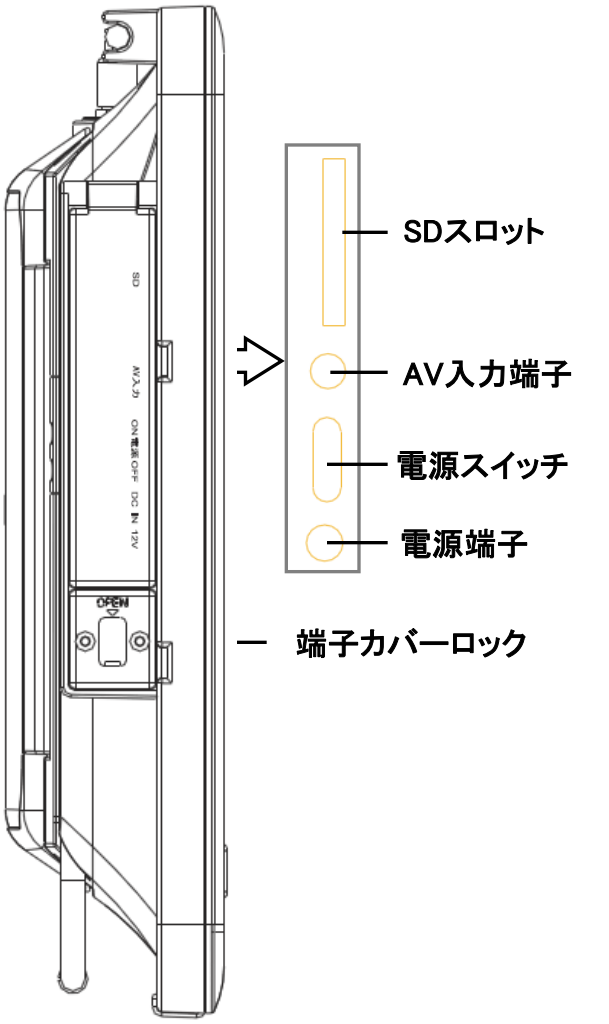
ディスクカバーを閉じる：
ディスクカバーを閉じて、ディスクカバーロックを押し、「カチッ」と音が聞こえます。

スタンド：
スタンドを引き上げると、本体を立たせて使用することができます。

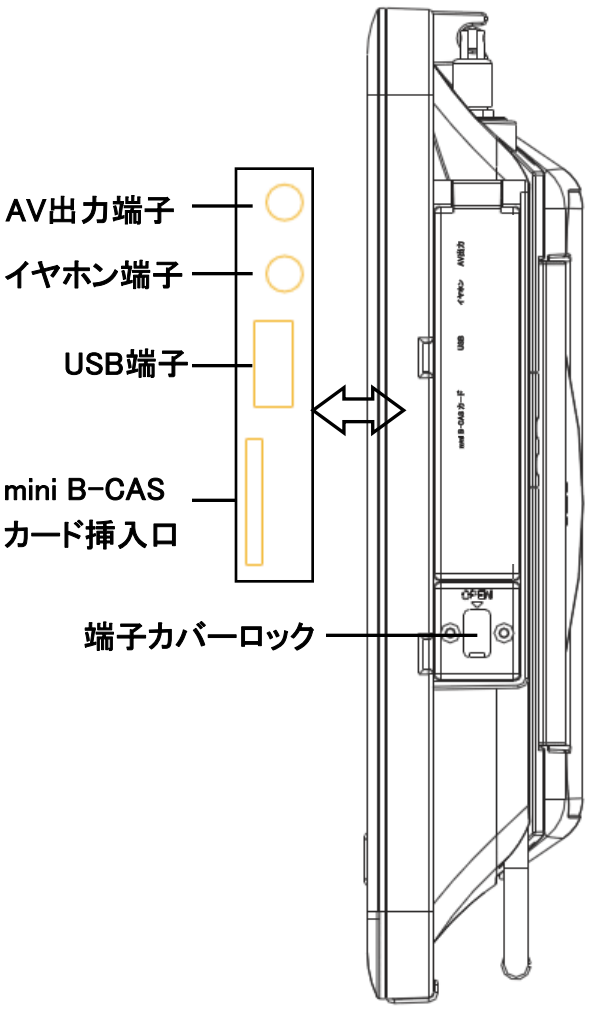
本体上部



本体側面（左側）

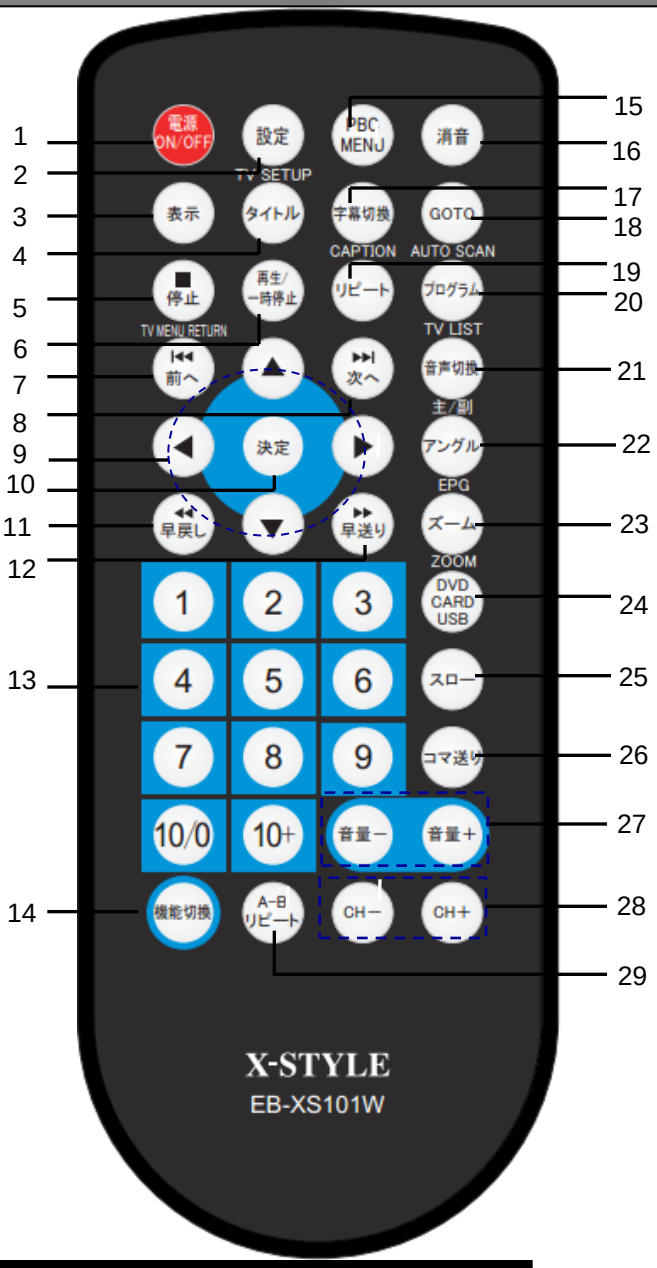


本体側面（右側）



※端子カバーを開ける時、端子カバーロックを「 ▼ 」方向へ押し、端子カバーをツメで引きさげてください。

端子カバーを閉じる時、端子カバーを「カチッ」と音が聞こえるまで閉めてください。



テレビを見るときに使用するボタン

2.TV SETUPボタン：

TV設定メニュー画面が表示します。

5.TV MENU RETURNボタン：

設定する際に一つ上の項目に戻る時使用します。

9. ▲▼◀▶ 方向ボタン：

メニューの選択に使用します。

17.CAPTIONボタン：

字幕をオン/オフさせます。

18.AUTO SCANボタン：

自動的にチャンネルを検索します。

20.TV LISTボタン：チャンネルリストを表示します。

21.主/副ボタン：

主音声、副音声の設定をします。

22.EPGボタン：番組表を表示します。

23.ZOOMボタン：ズームアップ放送をします。

28.CH－/CH＋ボタン：

チャンネルを切換えします。

DVD、CD、SDカード、USB再生のとき使用するボタン

1、電源ON/OFFボタン
電源をオンまたはオフにします。
2、設定ボタン
設定メニュー画面を表示します。
3、表示ボタン
ディスクの再生中、現在のディスクの情報を表示します。
4、タイトルボタン
タイトルメニューを表示します。
※ディスクによっては対応していない場合があります。
5、停止ボタン
再生を停止します。
6、再生/一時停止ボタン
再生を開始します。
再生中に押すと一時停止します。
7、前へボタン
ディスクの再生中に「前へ」ボタンを押すとスキップ戻しを行います。
8、次へボタン
ディスクの再生中に「次へ」ボタンを押すとスキップ送りを行います。
9、 方向ボタン
メニューの選択に使用します。
10、決定ボタン
設定/選択した項目を実行します。
11、早戻しボタン
ディスクの再生中に「早戻し」ボタンを押すと、早戻しを行います。
12、早送りボタン
ディスクの再生中に「早送り」ボタンを押すと、早送りを行います。
13、数字ボタン
任意のシーンや曲の番号を直接入力する際に使用します。
14、機能切換ボタン
DVD/AV/TV再生機能に切換える際に使用します。
15、PBC MENUボタン
ディスクの再生中、DVDのメインメニュー画面に入ります。
16、消音ボタン
ディスクの再生中、音を消す際に使用します。
17、字幕切換ボタン
ディスクの再生中、字幕を切換える際に使用します。
18、GOTOボタン
再生内容を指定する際に使用します。
19、リピートボタン
ディスクの再生中、チャプターやタイトルごとにリピートできます。
20、プログラムボタン
プログラム再生の設定の際に使用します。
21、音声切換ボタン
ディスクの再生中、音声を切換える際に使用します。
22、アングルボタン
ディスクの再生中、映像のアングル（カメラ角度）を切換える際に使用します。
※ディスクによっては対応していない場合があります。
23、ズームボタン
ズームの倍率を変更します。
24、DVD/CARD/USBボタン
CD・DVD/USB/SD再生の切換える際に使用します。
25、スローボタン
スロー再生します。
26、コマ送りボタン
コマ送りを行います。
27、音量－/音量＋ボタン
音量を下げ/上げます。
29、A－Bリピートボタン
ディスクの再生中、AからBまでリピートできます。

準備

リモコン用ボタン電池の交換のしかた

1、電池フタを開けます。

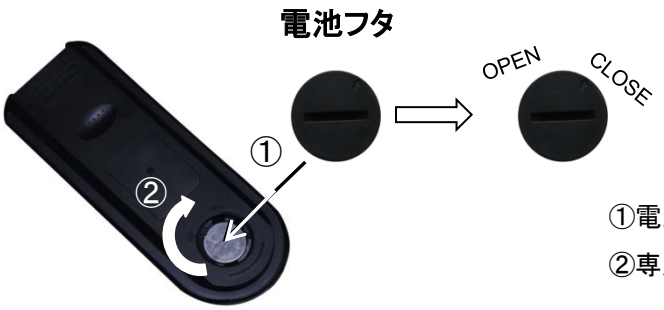
専用道具

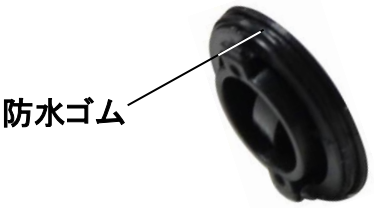
リモコン裏側の電池フタを専用道具で外します。

2、電池を入れます。

電池

3、電池フタを閉じます。





防水ゴムがありますので、
なくさないようにご注意ください。
リチウム電池（CR2025）の『＋』
を上側にしてセットください。

①電池フタを『OPEN』に向けて付け、

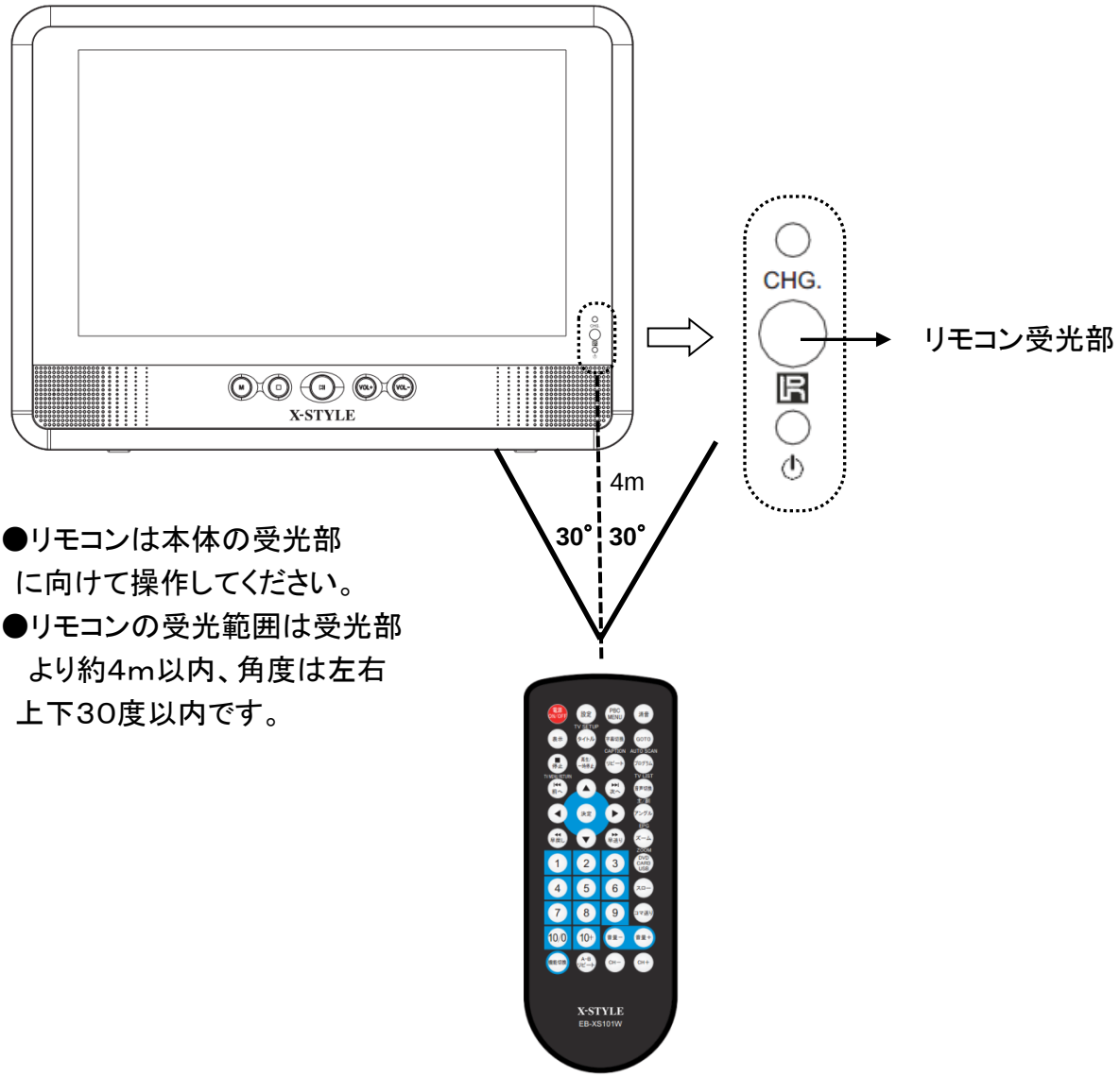
②専用道具で電池フタを『CLOSE』まで閉めます。

⚠ 注意

※電池の誤った使い方は、液漏れや破裂の原因になります。次の点にご注意ください。

- ●電池の「＋、－」は正しい方向で入れてください。
- ●使用済みの電池や有効期限切れの電池を使用しないでください。
- ●長時間ご使用にならない場合は、電池を本体から取り出しておいてください。
- ●電池を加熱したり、分解したり、ショートさせたり、火の中に投入しないでください。
- ●液漏れが生じた場合は、漏れた液を拭いて、新しい電池と交換してください。
- ●ボタン電池は、小さいお子様が誤って飲み込むおそれがあります。
  電池は幼児の手の届かないところに保管してください。
  万一飲み込んだ場合はただちに医師の指示を受けてください。

リモコンの使い方



●リモコンは本体の受光部
に向けて操作してください。
●リモコンの受光範囲は受光部
より約4m以内、角度は左右
上下30度以内です。

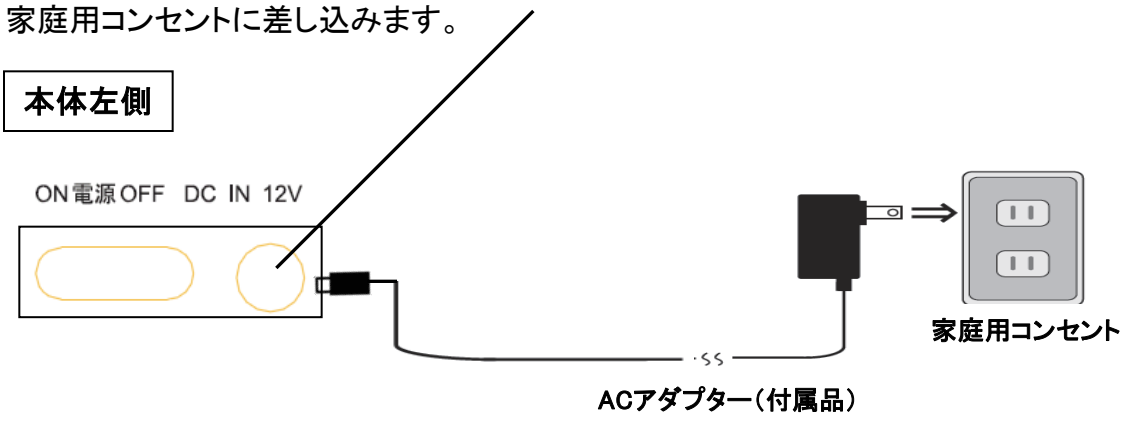
※注意1：
本体のリモコン受光部が直射日光や強い光のもとにさらされると、装置が誤作動することがあります。

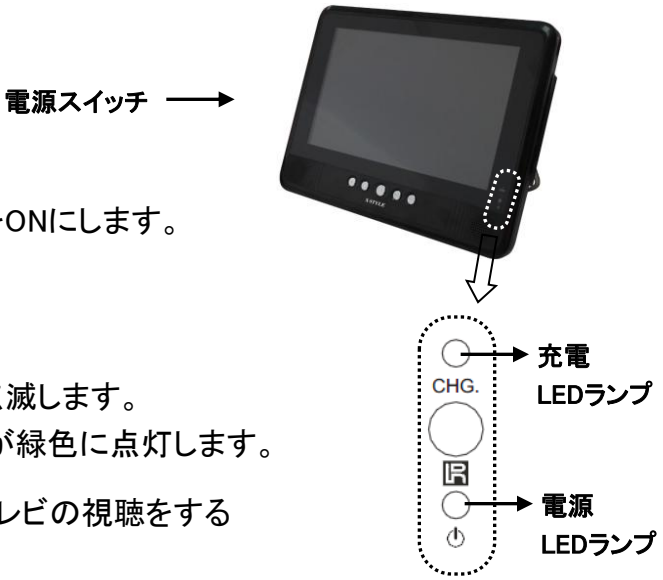
※注意2：
リモコンに水をこぼしたり、湿ったものを置いたりしないでください。
リモコンは分解しないでください。

ACアダプターの接続

1、付属のACアダプターを本体左側『DC IN 12V』(電源入力端子)に接続し、
家庭用コンセントに差し込みます。

本体左側





2、本体左側の電源スイッチ『 』をONにします。

『電源LEDランプ』が赤く点灯します。
同時に充電も開始されます。

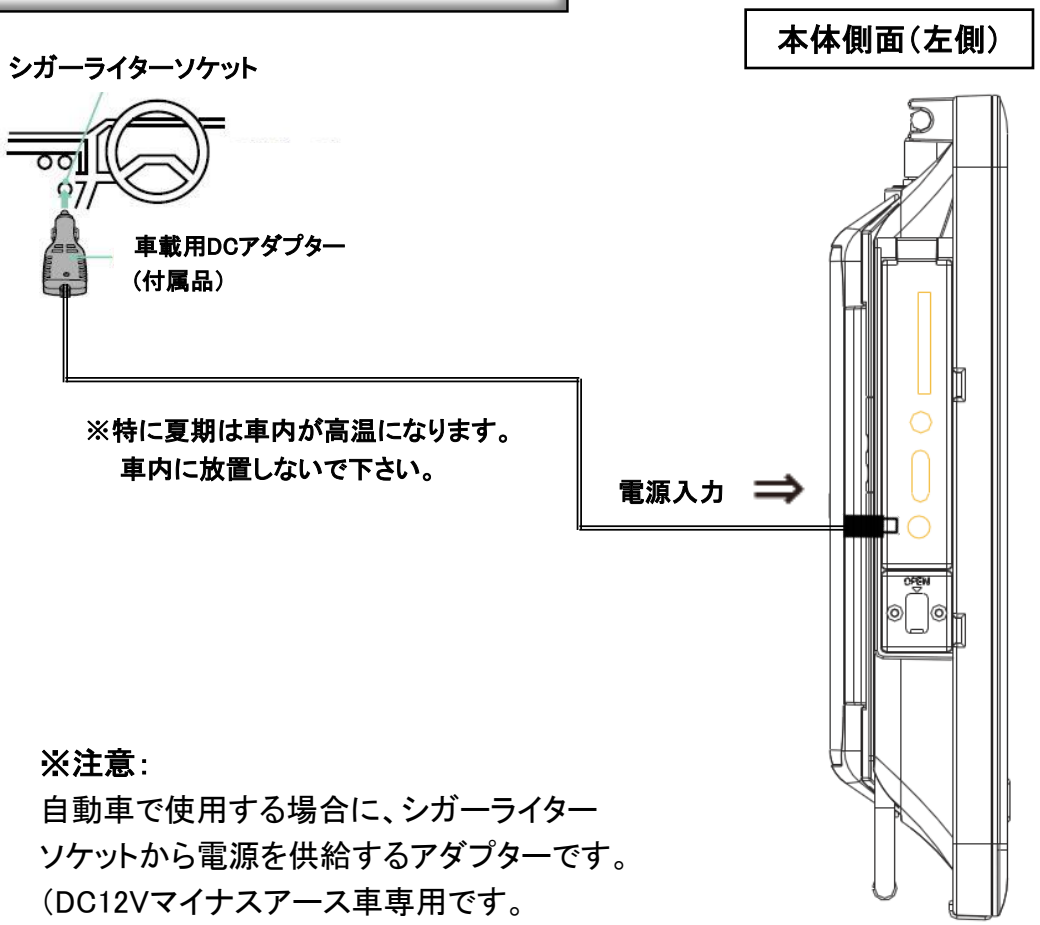
充電中は充電LEDランプが緑色に点滅します。
充電が終了すると、充電LEDランプが緑色に点灯します。

※充電をしながら、DVDなどの再生、テレビの視聴をする
ことができます。

⚠ 警告

・ACアダプターは家庭用100Vのコンセントに接続すること。
・濡れた手でACアダプターの抜き差しをしないこと。
感電の原因となることがあります。
・付属のACアダプターを使用すること。
指定以外のものを使用すると、火災・故障の原因になります。
※通電中、ACアダプターの表面温度が高くなる場合があります。
持ち運ぶときは、電源プラグを抜き、温度が下がってから行ってください。

車載用DCアダプターの接続



※注意:
自動車で使用する場合に、シガーライター
ソケットから電源を供給するアダプターです。
（DC12Vマイナスアース車専用です。
トラック等24Vのソケットに接続すると、
ショートして故障の原因になりますので、
絶対におやめ下さい。）

1、本機の電源を切る。

2、本機の電源入力端子に、車載用DCアダプターのプラグを差し込む。

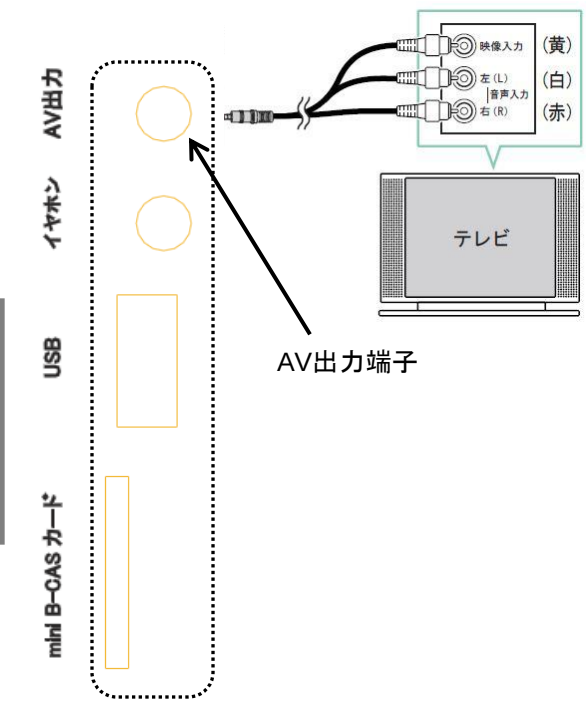
3、車のエンジンをかける。

4、シガーライターソケットに、車載用DCアダプターを差し込み通電させる。

5、外す時は、先に本機からプラグを抜き、その後シガーライターソケット
から抜いてください。

テレビとの接続

本体側面（右側）



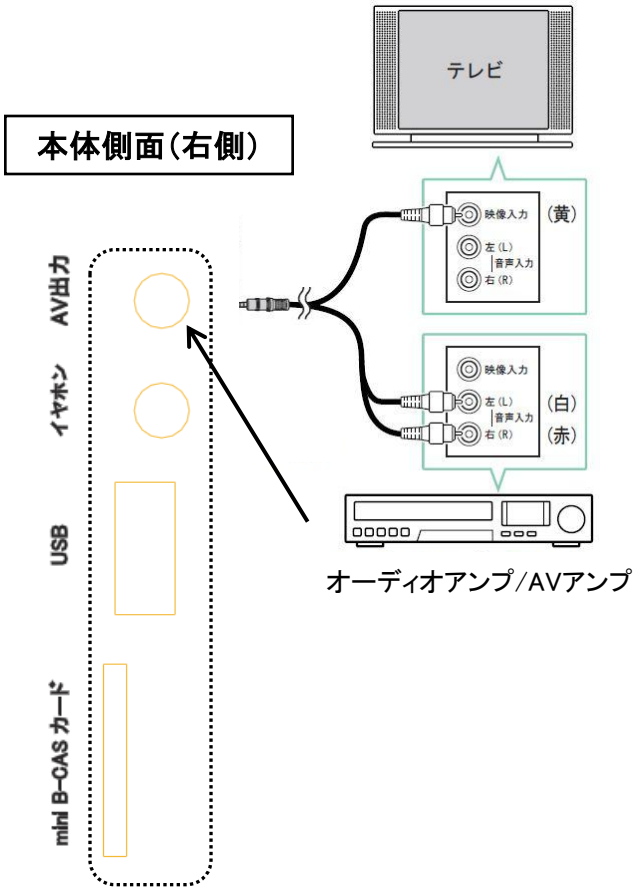
本製品で再生した映像や音声を、テレビで楽しむことができます。

本製品のAV出力端子とテレビの映像・音声入力端子に接続します。

※注意：
本製品の設置の仕方により、テレビに出力した映像に色むらがでることがあります。
その場合、本製品をテレビから離してください。

AVアンプとの接続

本体側面（右側）



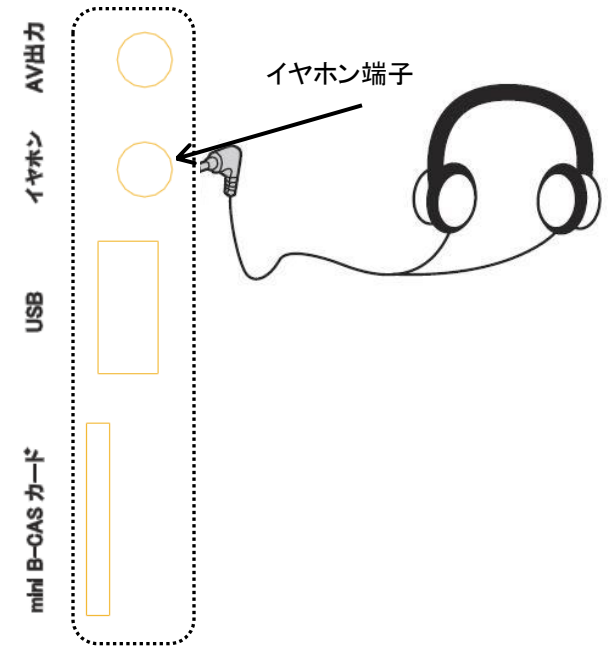
本製品で再生した映像をテレビに、音声をAVアンプに出力して楽しむことができます。

映像出力プラグをテレビの映像入力端子に、音声出力プラグをAVアンプの音声入力端子に接続します。

テレビとAVアンプが離れている場合は、市販品の延長コードを併用してください。

イヤホンをつなぐ

本体側面（右側）



イヤホンをイヤホン端子に接続すると、
スピーカーから音を出さずに再生できます。

1、接続する時は一旦音量を下げ、
　本機の電源を切ってください。
2、電源を入れ、再生が始まってから、
　音量を調整してください。

※注1：電源が入ったままの抜き差しは、
誤作動の原因となります。
※注2：イヤホンをご使用になる時は、
音量を上げすぎないでください。
耳を刺激するような大きな音量
で聞くと、聴力に悪い影響を
与えることがあります。

DVDを見る／CDを聞く

DVD、CDを再生する

●用意するもの

プレーヤー本体

ACアダプター

リモコン・電池・
専用道具

⚠ 注意

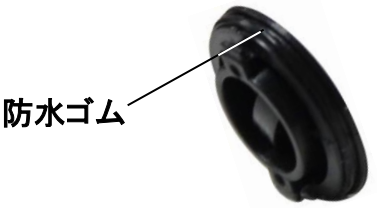
水周りでは、ACアダプターを接続してのご使用はできません。
充電をしてから、ACアダプターを外し、端子カバーを「カチッ」という音が聞こえるまで閉めてからご使用ください。

DVDを見る

リモコンの準備

出荷時、リモコンに電池を入れてないため、
リモコンを使用する前に、電池を入れてください。

（電池の入れ方は取扱説明書15ページを
ご参照ください。）

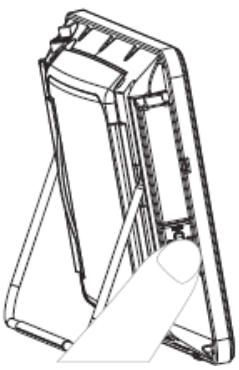


電池フタ

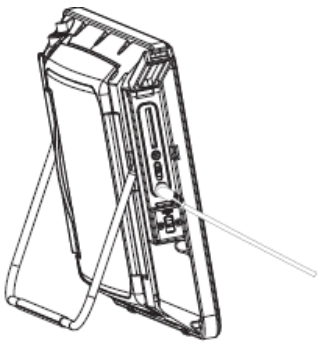
防水ゴムがありますので、
なくさないようにご注意ください。
リチウム電池（CR2025）の『＋』
を上側にしてセットください。

本体の準備

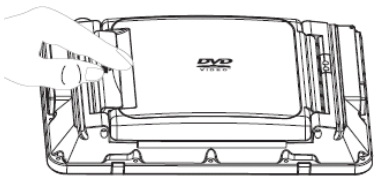
①本体側面左側の端子カバーロックをツメで引きさげ、端子カバーを開けます。



②ACアダプターを電源端子に差し込み、ご家庭のコンセントに接続します。

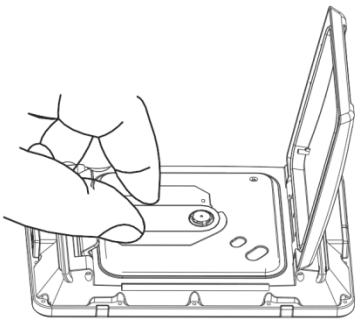


③パネルを下にして、本体の裏側のディスクカバーロックを引き上げます。

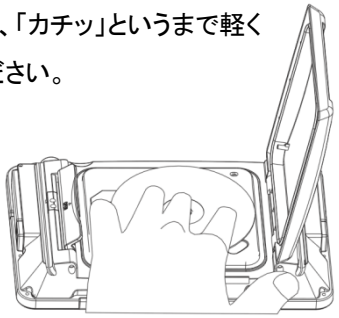


DVDを見る／CDを聞く

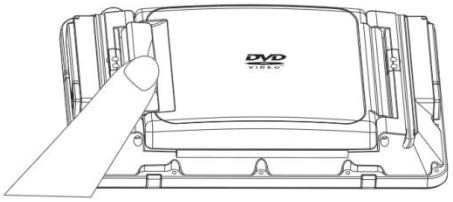
④保護のために入っているカバーを外します。



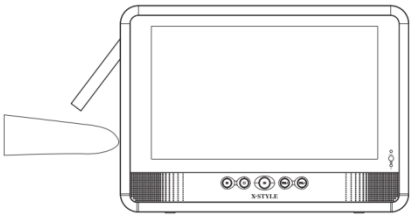
⑤中央の黒い丸い部分に、ディスクの中央の穴を合わせ、「カチッ」というまで軽く押し込んでください。



⑥ディスクトレイカバーを閉じます。



⑦本体左側の電源ボタンをONにして、電源を入れます。



⑧『読込中』と画面表示され、自動的にディスクの読み込み、再生が始まります。
ディスクによっては、ディスクメニューの操作が必要なものもあります。

DVDを見る

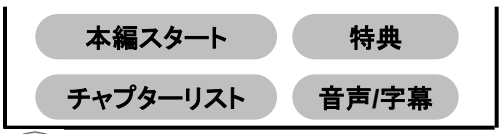
ディスクメニューからの操作

●ディスクによっては自動的に再生が始まらずに、メニュー画面が表示されるものがあります。

① PBC MENU を押す。

メニュー画面が表示されます。

※オープニング映像の後、自動的にメニュー画面が表示され、この画面で停止状態になるディスクもあります。



② ▲ ▼ ◀ ▶ でメニューから見たい項目を選択し、決定 を押す。

●さらにメニュー画面がある時は②の操作を繰り返します。

※ディスクによってはこの機能は使えません。

ディスクの再生中にできること

電源の入/切

プレーヤーに電源を接続し、リモコンに電池をセットしてください。
本体左側の電源スイッチをONにしてください。

電源の入/切が行えます。

●長時間使わない時はACアダプターの電源プラグをコンセントから抜いて下さい。

音量の調節

リモコンの 音量+ 音量− を押す。
本体で操作する時は VOL− VOL+ を押す。

音量+ を押すと音が大きくなり、音量− を押すと、音が小さくなります。
音量レベルは00から20です。

消音

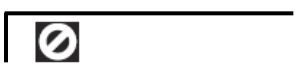
リモコンの 消音 を押す。
一時的に音を消す時は 消音 を押します。
もう一度押すと元の音量になります。
消音中は表示がでます。

●画面の表示

その他

無効なボタンを押すと、画面に と表示されます。

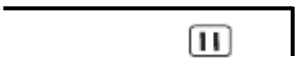
●画面の表示



一時停止

1.リモコンの 再生/一時停止 を押す。
再生中に押すと、一時停止します。
一時停止中は画面に表示がでます。

●画面の表示



2.再度リモコンの 再生/一時停止 を押す、
通常の再生に戻ります。

停止

1.リモコンの 停止 を押す。
仮停止中は画面に表示がでます。

●画面の表示

2.リモコンの 再生/一時停止 を押す、
先ほど停止を押したところから、再生が再開されます。

●画面の表示

3.「1」のとき再度 停止 を押す。
回転が止まり、完全に再生を停止します。

●画面の表示

ディスクの再生中にできること

次へ/前へ

再生中又は一時停止中に操作をします。

●次へ

次へ を押す。

●画面の表示

次のチャプター（CDではトラック）に移動し、再生を始めます。

●前へ

前へ を押す。

●画面の表示

前のチャプター（CDではトラック）に移動し、再生を始めます。

早送り/早戻し

再生中又は一時停止中に操作します。

1. リモコンの 早送り を押す。
早送り再生が始まり、画面には速度表示がでます。
ボタンを押すたびに、再生速度が下記の順序で切り換わります。

●画面の表示

●同様に 早戻し を押すと早戻り再生をします。

※但し早送り/早戻り再生中は音が出ません。

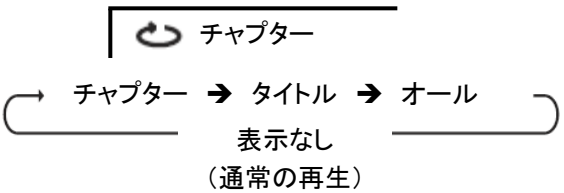
2. 早送り/早戻り再生中に 再生/一時停止 を押す。
通常の再生に戻ります。

リピート再生

リピート を押す。
ボタンを押すたびに下記のような種類のリピートモードに切り換わります。

DVDの場合

●画面の表示



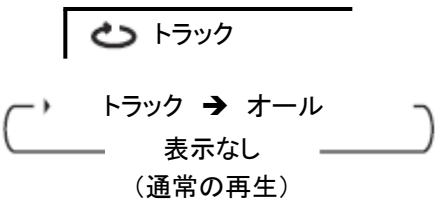
●チャプターリピート:
選択したチャプターがリピート再生されます。

●タイトルリピート:
選択したタイトルがリピート再生されます。

●オールリピート
ディスクのすべてがリピート再生されます。

CDの場合

●画面の表示



●トラックリピート:
選択した1トラック（曲）がリピート再生されます。

●オールリピート
ディスクのすべてがリピート再生されます。

※リピート再生中の画面表示は、消すことはできません。

ディスクの再生中にできること

A-Bリピート

再生中に A-Bリピート を押すと、任意の部分を指定して繰返し再生をすることができます。

1. 再生中、繰返し再生の開始点(A)にしたいタイミングで A-Bリピート を押します。

●画面の表示 ↻ A

2. 次に、リピート再生の終了点(B)にしたいタイミングで A-Bリピート を押すと、A-Bリピート再生が始まります。

●画面の表示 ↻ AB

注:A-Bリピート再生中、『 ↻ AB 』の画面表示は消えません。

3. A-Bリピート再生中にもう一度 A-Bリピート を押すと、A-Bリピート再生を終了します。

音声切換

●複数の音声を記録したDVDビデオを再生するには、音声の選択ができます。再生中に 音声切換 を押す。

ボタンを押すたびに音声の番号、種類、音声言語が表示され、音声を切換えることができます。

※この選択は複数の音声データが入っているDVDビデオを再生する場合のみ有効です。
※ディスクによってはこの機能は使えません。
※ディスクによっては、ディスクメニューで選択する場合もあります。

プログラム再生

再生中に プログラム を押すと、プログラム設定ウィンドウが表示されます。

DVDの場合

タイトル、チャプターナンバーを方向ボタンと数字ボタンを使用して入力すると、下部に『スタート』が表示されますので、カーソルを合わせ、決定 を押すとプログラム再生が開始します。
もう一度 プログラム を押すと、下部に『停止』が表示されますので、ここで 決定 を押すとプログラム再生を終了します。

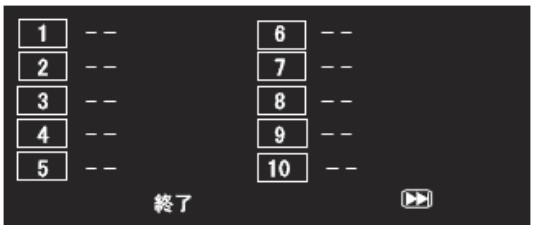
注:プログラム再生中の『プログラム』の画面表示は消えません。

数字の入力を訂正する時、方向ボタンと数字ボタンで再入力して訂正します。

CDの場合

トラックナンバーを方向ボタンと数字ボタンを使用して入力し、プログラムを設定します。

プログラム再生の開始と、終了はDVDと同様の操作です。



ディスクの再生中にできること

GOTO

再生中に GOTO を押すと、現在のタイトル番号、チャプター数が表示されます。

●画面の表示

TT:01/01　CH:■ /00

見たいチャプターナンバーを入力するとその場面にジャンプします。

再度 GOTO を押すと、現在のタイトル番号と、時間入力の画面が表示されます。

●画面の表示

TT:01/01　時間 ■:■:■

そのタイトルの中の見たい時間を入力すると、その場面にジャンプします。

再度 GOTO を押すと、現在のチャプター番号と、時間入力の画面が表示されます。

●画面の表示

CH:01/01　時間 ■:■:■

そのチャプターの中の見たい時間を入力するとその場面にジャンプします。
画面表示は3秒ほどで消えます。

字幕切換

●複数の言語による字幕を記録したDVDビデオを再生する場合、字幕言語の選択ができます。

再生中に 字幕切換 を押す。

ボタンを押すたびに字幕の番号、字幕言語が表面に表示され、字幕を切り換えることができます。

※この選択は複数の字幕データが入っているDVDビデオを再生する場合のみ有効です。

※字幕の種類および数はソフトにより異なります。

※ディスクによってはこの機能は使えません。

※ディスクによっては、ディスクメニューで選択する場合もあります。

ズーム

ズーム を押す。

画面には倍率が表示されます。
ボタンを押すたびに倍率が下記の順序で切り換わります。

●画面の表示

■ 2X
拡大表示
2X → 3X → 4X
ズーム:オフ ← 1/4 ← 1/3 ←1/2
通常サイズ　縮小表示

※ただし表示倍率は数字の倍率とは異なります。

●拡大表示中は ▲ ▼ ◀ ▶ を押して画像を移動することができます。

注:ズーム中は画面表示は消えません。

ディスクの再生中にできること

スロー

スロー を押す。

画面には速度が表示されます。
ボタンを押すたびに再生速度が下記の順序で切り換わります。

●画面の表示

▶ 1/2

▶ 1/2➔ ▶ 1/4➔ ▶ 1/8➔ ▶ 1/16➔
◀ 1/2➔ ◀ 1/4➔ ◀ 1/8➔ ◀ 1/16➔▶

※ただしスロー再生中は音はでません。

注:スロー再生中は画面表示は消えません。

アングル

異なるアングルが収録されたDVDディスクを再生する時に、同じシーンと異なるアングルから見ることが出来ます。

再生中に アングル を押す。

ボタンを押すたびに異なるアングルに切り換わります。
※この機能が記録されていないDVDディスクではこの機能は使えません。
アングル対応かどうかはDVDディスクのケースやジャケットをご覧ください。

画面表示

●再生中 表示 を押す。
ボタンを押すたびに現在のタイトルとチャプターの経過時間・残り時間表示を表示します。
さらに押すと画面表示が消えます。

●画面の表示
タイトル再生時間
TT:00/27 CH:01/02
0:01:08

●画面の表示
タイトル残り時間
TT:00/27 CH:01/02
0:01:08

●画面の表示
チャプター再生時間
TT:00/27 CH:01/02
0:01:08

●画面の表示
チャプター残り時間
TT:00/27 CH:01/02
0:01:08

表示オフ

DVDに表示されているマークについて

DVDのディスクレーベル、またはパッケージには以下のようなマークが表示されています。

マーク	意 味
2	**記録されている音声の数**
2	**記録されている字幕言語の数**
3	**記録されているアングル数**
16:9 LB	**記録されている映像のアスペクト比(縦横比)**
2	**リージョン番号(地域番号)を表します。本機はリージョン番号「2」と表示されたディスクを再生することができます。**

DVDビデオによって、リージョン番号が指定されているものがあります。リージョン番号は地域を限定するもので、日本はリージョン番号「2」が指定されています。これ以外のリージョン番号マークのついたディスク再生しようとすると、画面に再生できない警告表示がでます。

設定を変更したい時

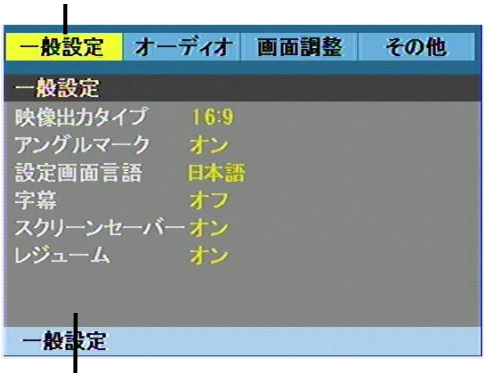
●システム設定では本製品にさまざまな設定をすることができます。ただし、各設定はディスク情報が優先されます。
●一度設定しますと、設定を変えるまでメモリーに保存されます。
●設定を変更する際はDVDディスクを取り外した状態で行ってください。

設定方法

1. DVDを取外した状態の時 設定 を押す。

設定画面が表示されます。

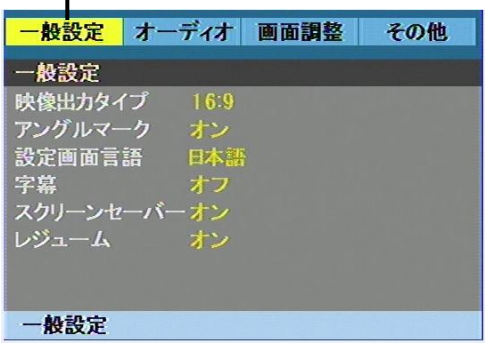
メインメニュー



サブメニュー

2. リモコンの ▶ ◀ でメインメニューを選択します。

選択されたメニュー
（黄色のカーソルで表示されます。）



3. リモコンの ▲ ▼ でサブメニュー欄にカーソルを移動する。

4. リモコンの ▲ ▼ でサブメニューを選択、 決定 を押す。

設定メニューが表示されます。

5. リモコンの ▲ ▼ で設定メニューを選択、 決定 を押す。

設定メニュー
（サブメニューを選択すると、
設定メニューが表示されます。）

選択したサブメニュー
（緑色のカーソル）

現在の設定（茶色のカーソル）

新しい設定（緑色のカーソル）

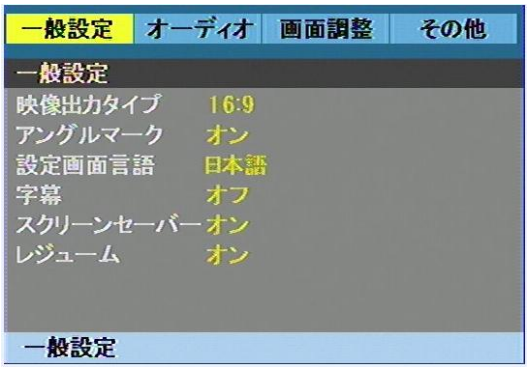
●他にも設定するときは ▲ ▼ を押し4以下の操作を繰り返します。
●他のメインメニューを設定するときには、◀ を押し、サブメニューに戻り、◀ を押してメインメニューから選択します。

6. システム設定を終了するときは、再度 設定 を押す。

DVDを見る

設定を変更したい時

一般設定



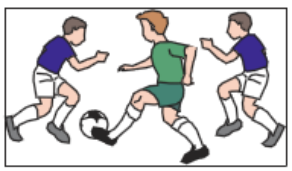
映像出力タイプ

画面のサイズを設定します。

●4:3 PS:
本機では対応しておりません。

●4:3 LB:
本機では対応しておりません。

●16:9:
横縦比16:9のワイド画面に設定されます。



アングルマーク

マルチアングルで収録されたディスクのみ機能します。
●オン:この機能が有効になります。
この間は画面上に マークが表示されます。
●オフ:この機能が無効になります。

設定画面言語

画面に表示される言語を設定します。
●英語 ●日本語

字幕

ディスクメニューより設定してください。
(ディスクメニューで設定した言語が優先します。)
●オン ●オフ

スクリーンセーバー

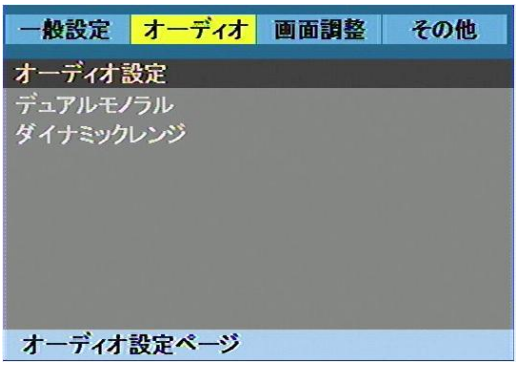
モニターの画面焼けを防ぐため、停止状態のまま約3分経過すると、DVDロゴを画面上で動かします。
●オン ●オフ

レジューム

途中で停止して、電源を切っても、再度電源を入れたときに、見ていた続きから再生されます。
●オン ●オフ

設定を変更したい時

オーディオ設定



DVDを見る

デュアルモノラル

ステレオのチャンネル数を設定します。

●ステレオ:　通常のステレオ

●モノラル左:左側の音のみ両側のスピーカーからでる

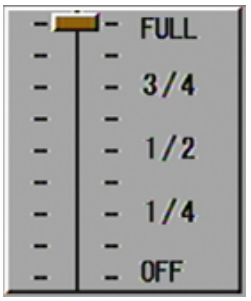
●モノラル右:右側の音のみ両側のスピーカーからでる

●ミックス:左右ミックスのモノラル

ダイナミックレンジ

対応するディスクを再生する時音量の幅を設定し迫力を調整します。

1. リモコンの 決定 を押す。



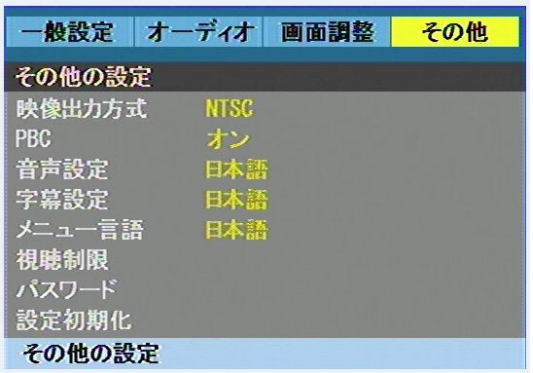
2. ▲ ▼ で調節し、決定 を押す。

設定を変更したい時

DVDを見る

画面調整

その他の設定



鮮明度

画面の鮮明度を設定します。
●高　●中　●低

明るさ

画面の明るさを調整します。
カーソルをあわせ、(決定) を押すと設定画面が表示されます。
(▶)(◀) で数値を調整してください。
● -20 ～ +20 の間で設定します。
メインメニューに戻るには、(決定) を押し，(◀) を押します。

コントラスト

画面のコントラストを設定します。
● -16 ～ +16 の間で設定します

彩度

画面の彩度を調整します。
● -9 ～ +9 の間で設定します

色調

画面の色調を調整します。
● -9 ～ +9 の間で設定します

映像出力方式

日本国内で使用される場合は「NTSC」を選択してください。
他を選択すると正しく再生できません。
●PAL　●自動　●NTSC

PBC

PBC機能のオンまたはオフを設定します。
●オン　●オフ

音声設定

ディスクメニューより設定してください。
（ディスクメニューで設定した言語が優先します。）
●英語　●フランス語　●スペイン語
●中国語　●日本語　●韓国語
●ロシア語　●タイ語

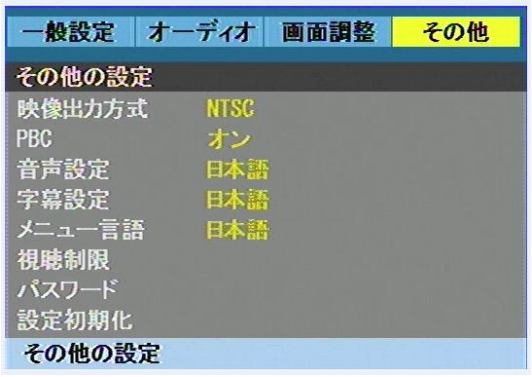
字幕設定

ディスクメニューより設定してください。
（ディスクメニューで設定した言語が優先します。）
●英語　●フランス語　●スペイン語
●中国語　●日本語　●韓国語
●ロシア語　●タイ語　●オフ

設定を変更したい時

DVDを見る

選択設定



メニュー言語

ディスクメニューより設定してください。
（ディスクメニューで設定した言語が優先します。）

●英語　●フランス語　●スペイン語
●中国語　●日本語　●韓国語
●ロシア語　●タイ語

視聴制限

視聴制限のレベルを設定します。
ディスクの表示をご確認ください。

1 KID SAFE
2 G
3 PG-G
4 PG-13
5 PG-R
6 R
7 NC-17
8 無制限

選択して 決定 を押すと、パスワード入力の画面になります。

パスワードを入力して「OK」にカーソルをあわせ、決定 を押すと新しい設定になります。
初期設定ではパスワードは『8888』です。

パスワード

パスワードの変更を行います。

変更にカーソルを合わせ、決定 を押すと下記の画面が表示されます。

旧パスワードと、新パスワードを入力し、再度新パスワードをパスワード確認の欄に入力して、「OK」にカーソルをあわせ、決定 を押すと新しいパスワードが設定されます。

初期設定ではパスワードは『8888』です。

設定初期化

工場出荷時の設定に戻します。
●実行

SDカード／USBメモリースティック

●本製品ではSDカード、USBメモリースティックに記録されたJPEG・MP3・WMA・MPEG4ファイルを再生することができます。

⚠ 注意

●本製品でSDカード、USBメモリースティックを使う時、以下の注意事項を必ずお守りください。間違えたお使い方においてのデータの損失、SDカード、USBメモリースティックの破損については保証いたしかねます。

●SDカード、USBメモリースティックの読込み中、再生中又は動作終了以前に、取り出たり、電源を切ったりしないでください。データが破損することがあります。

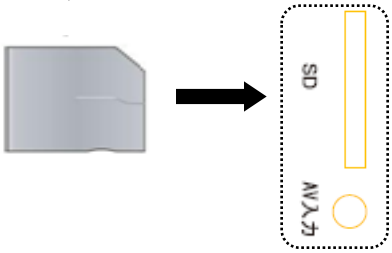
●本製品で再生できるのはJPEG・MP3・WMA・MPEG4形式だけです。それ以外の形式で記録されたカードは使わないでください。

●SDカード・USBメモリーの機種、メーカー、年式等によっては正しく動作しない場合がございます。

S D ・ U S B

SDカードの再生

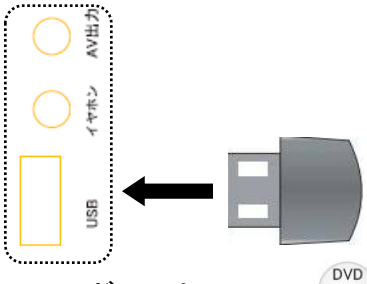
1. 本体左側の端子カバーを開いたまま、SDカードスロットにSDカードの裏面を手前にして差込みます。



2. DVDモードで、リモコンの DVD CARD USB を押し、SDカードを再生します。

USBメモリーの再生

1. 本体右側のUSBスロットにUSBメモリースティックの裏面を手前にして挿入する。



2. DVDモードで、リモコンの DVD CARD USB を押し、USBメモリースティックを再生します。

※ DVD CARD USB を押し、再生順位：DVD・CDディスク ➔ USBメモリー ➔SDカード

SDカードの再生

SDカード、USBメモリースティックを取りだす

※SDカード、USBメモリースティックの読込み中、再生中または動作終了直後にカードを取り出したり、電源を切ったりしないでください。データが破損することがあります。

●JPEG・MP3・WMA・MPEG4の再生については、34ページ以降の説明にしたがってください。

※注意：
データの読込み中や再生中にはUSB/SDの出し入れは行わないでください。
USBメモリーは、8GBまでサポートしております。
（8GB以上のUSBメモリーに関しては動作致しません。）
MP3・WMA・JPEG・MPEG4（最大解像度：720×576）形式ファイルに対応しています。

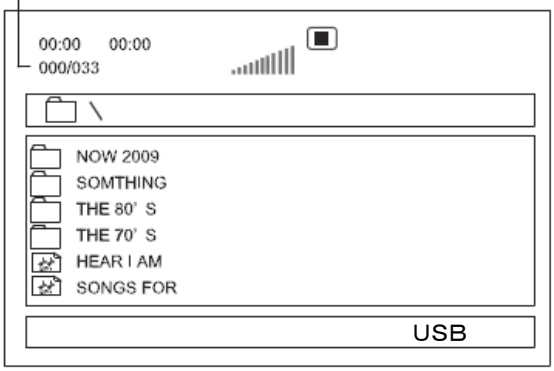
SDカード／USBメモリースティック（MP3・WMAファイルの再生）

基本操作

1. SDカード、USBメモリーをプレーヤーにセットする。

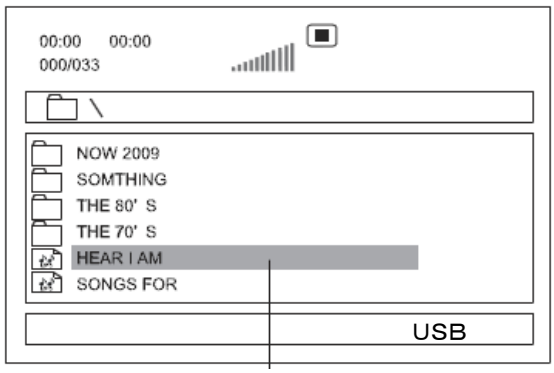
●液晶画面にはファイル/フォルダーが表示されます。

フォルダーおよびファイル番号/
総フォルダーおよびファイル数



※表示される文字は半角英数字23文字までです。

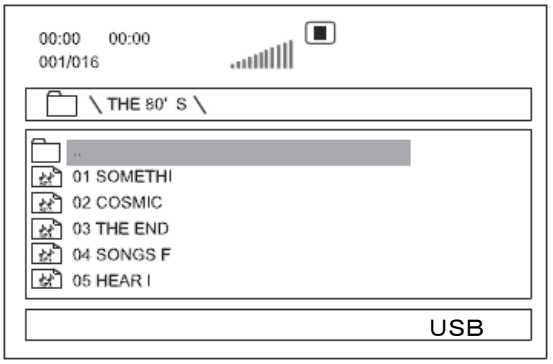
2. リモコンの ▲ ▼ で開きたいファイルにカーソルをあわせて選択します。



選択したファイル（オレンジのカーソル）

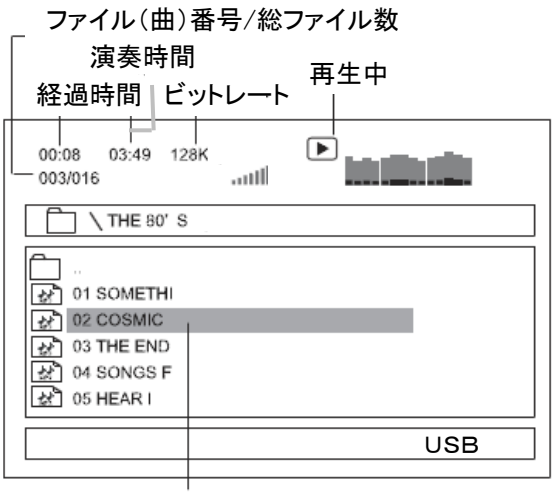
○フォルダーを選択したときは、
フォルダー内のファイルを選択します。

●フォルダーを選択した後 ▶ または 決定 を押すとフォルダー内を見ることができます。



●上位のフォルダーに移動するときは ◀ を押すか、「 」を選択し 決定 を押します。

3. リモコンの 決定 または 再生/一時停止 を押すと再生が始まります。



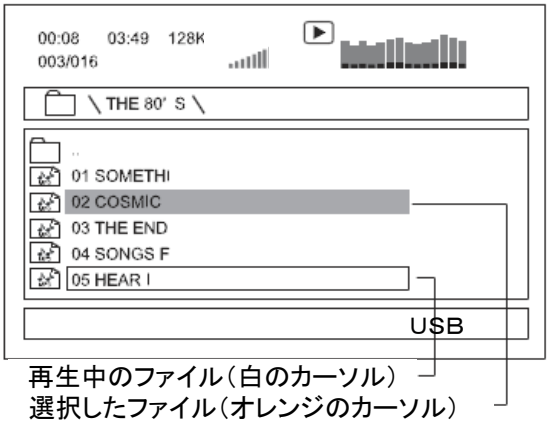
再生中のファイル（オレンジのカーソル）

4. フォルダー内の再生が終わると停止します。

SDカード／USBメモリースティック（MP3・WMAファイルの再生）

ファイルの選択（再生中）

1.「基本操作」（34ページ）に従って聞きたいファイルにカーソルをあわせ選択する。



再生中のファイル（白のカーソル）
選択したファイル（オレンジのカーソル）

2. リモコンの 決定 または 再生/一時停止 を押す
選択したファイルから再生が始まります。

DVDと同様の操作

●音量の調節 ・・・・・・・・23ページ参照
●消音 ・・・・・・・・・・・・・・23ページ参照
●一時停止 ・・・・・・・・・・23ページ参照
●停止 ・・・・・・・・・・・・・・23ページ参照
●次へ/前へ ・・・・・・・・・24ページ参照
●早送り／早戻し ・・・・・24ページ参照

リピート再生

リモコンの リピート を押す。

ボタンを押すたびにリピートモードが切り換わります。

ランダム
→ シングル再生
→ シングルリピート
→ フォルダリピート
→ フォルダー再生

●ランダム：
フォルダ内の曲をランダムして再生します。

●シングル再生：
選択した曲が再生されます。

●シングルリピート：
選択した曲をリピート再生します。

●フォルダリピート：
フォルダー内の曲をリピート再生します。

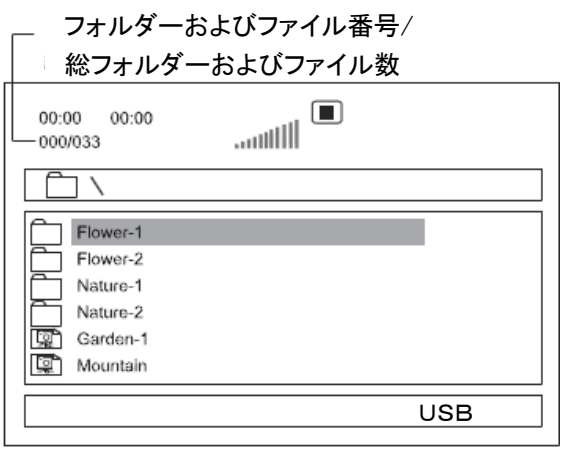
●フォルダー再生：
フォルダー全体を再生（フォルダー最後のファイルを再生完了後、再生停止になります。）

SDカード／USBメモリースティック（JPEGファイルの再生）

基本操作

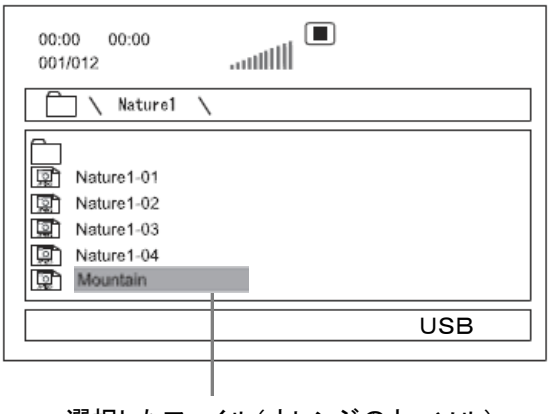
1. SDカード、USBメモリーをプレーヤーにセットする。

●液晶画面にはファイル/フォルダーが表示されます。



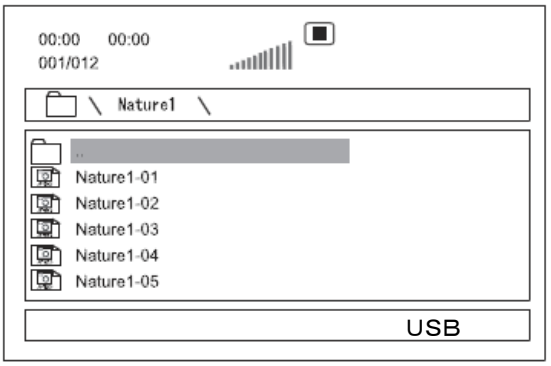
※表示される文字は半角英数字23文字までです。

2. リモコンの ▲ ▼ で見たいファイルにカーソルをあわせて選択します。



○フォルダーを選択したときは、
フォルダー内のファイルを選択します。

●フォルダーを選択した後 ▶ または 決定 を押すとフォルダー内を見ることができます。



●上位のフォルダーに移動するときは ◀ を押すか、「 」を選択し 決定 を押します。

3. リモコンの 決定 または 再生/一時停止 を押す。

スライドショー再生が始まります。

○再生中に PBC MENU を押すとフォルダー内を見ることができます。
○再生中に 停止 を押すと、下記メニュー画面が表示されます。

一覧表示からメニュー欄に移動するには ▼ を押してください。
Slide Show: 決定 を押すとスライドショー始めます。
Menu: 決定 を押すと、リモコン操作案内画面が表示します。
Prev: 前ページへ
Next: 次ページへ

4. ファイル内の再生が終わると停止します。

SDカード／USBメモリースティック（JPEGファイルの再生）

DVDと同様の操作

●一時停止 ・・・・・・・・・・23ページ参照
●次へ／前へ ・・・・・・・・・24ページ参照

リピート再生

リモコンの リピート を押す。

ボタンを押すたびにリピートモードが切り換わります。

ランダム
➔ シングル再生
➔ シングルリピート
➔ フォルダリピート
➔ フォルダー再生

●ランダム：
フォルダ内の画像をランダムして再生します。

●シングル再生：
選択した画像が再生されます。

●シングルリピート：
選択した画像をリピート再生します。

●フォルダリピート：
フォルダー内の画像をリピート再生します。

●フォルダー再生：
フォルダー全体を再生（フォルダー最後のファイルを再生完了後、再生停止になります。）

画像の回転

● ▲ を押すと画像が上下反転します。
● ▼ を押すと画像が左右反転します。
● ◀ ▶ を押すと画像が回転します。

プログラム

●スライドショーの再生中に、プログラム を押すたびに、画像の切り換わり方が変化します。

上から、下から、右から、左から、斜めから、ブラインドのようになどお好みの切り換方でお楽しみください。

※注意：
JPEGデータの読込みや再生には、メモリーデータの大きさにより、時間がかかる場合があります。

SDカード／USBメモリースティック（MPEG4ファイルの再生）

本機では、 最大解像度：720×576ピクセル のMPEG4ファイルが再生可能です。

DVDと同様の操作

●一時停止 ・・・・・・・・・・23ページ参照
●次へ／前へ ・・・・・・・・24ページ参照
●早送り/早戻り ・・・・・・24ページ参照
●A-Bリピート ・・・・・・・25ページ参照
●ズーム ・・・・・・・・・26ページ参照

リピート再生

リモコンの リピート を押す。

ボタンを押すたびにリピートモードが切り換わります。

ランダム
➔シングル再生
➔シングルリピート
➔フォルダリピート

●ランダム
ファイルのすべてをランダムして再生します。

●シングル再生
選択した対象が再生されます。

●シングルリピード
選択した対象がリピート再生されます。

●フォルダリピード
ファイルのすべてがリピート再生されます。

スロー

スロー を押す。

画面には速度が表示されます。
ボタンを押すたびに再生速度が下記の順序で切り換わります。

●画面の表示

▶ 1/2

▶ 1/2➔ ▶ 1/4➔ ▶ 1/8➔ ▶ 1/16➔▶

※ただしスロー再生中は音はでません。

注：スロー再生中は画面表示は消えません。

停止

再生中にリモコンの 停止 を押すと、ファイルリストに戻ります。

SDカード/USBメモリースティック（CDを録音する）

※注意： 重要なデータは必ずバックアップ保存しておいてください。

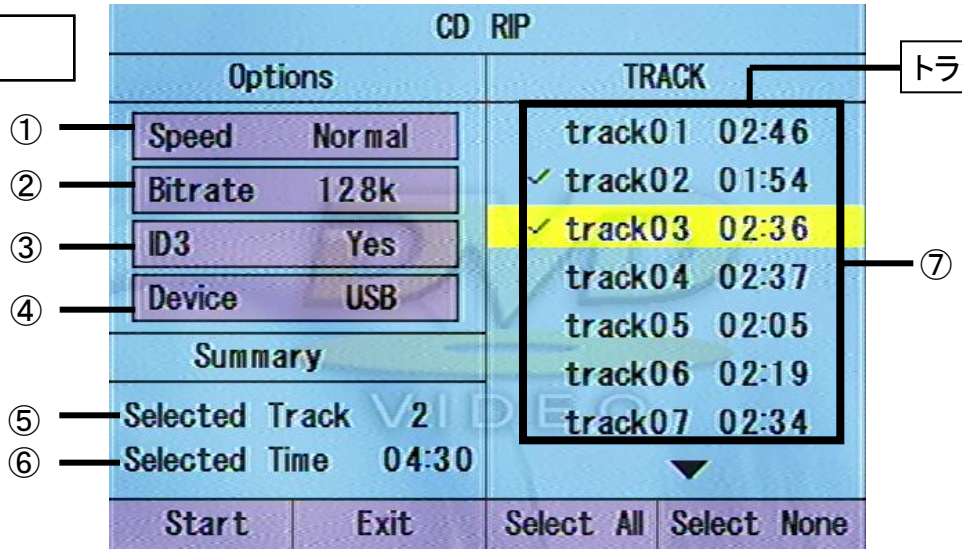
・USBに空き容量がないと「DISC FULL」と表示され、記録できません。
・本機ではUSBに記録されているデータを削除することはできません。
・録音中、本機の音量・音質を変えても録音される音声には影響ありません。
・本機で録音した場合は、MP3で記録されます。
・容量の大きいメモリーを接続した時は、読込みに多少時間がかかることがあります。
・本機ではフォルダー名やファイル名の入力は出来ません。
・本機ではMP3/WMAファイル形式のディスクからの録音は出来ません。市販の音楽CDのみとなります。

準備

SD・USB

1. SDカードまたはUSBメモリーを専用端子に入れてください。
2. CDディスクを再生してください。リモコンの 字幕切換 ボタンを押すと、録音画面が表示されます。
   再生中でも 字幕切換 ボタンを押せば、曲の頭から録音できます。
   ▲▼◀▶ で、項目を移動します。

録音画面



① 録音スピード：決定 ボタンを押すごとに録音スピードが切換えられます。
（Normal→Fast）
※Fastを選んだ場合は、スピーカーから音声は流れません。

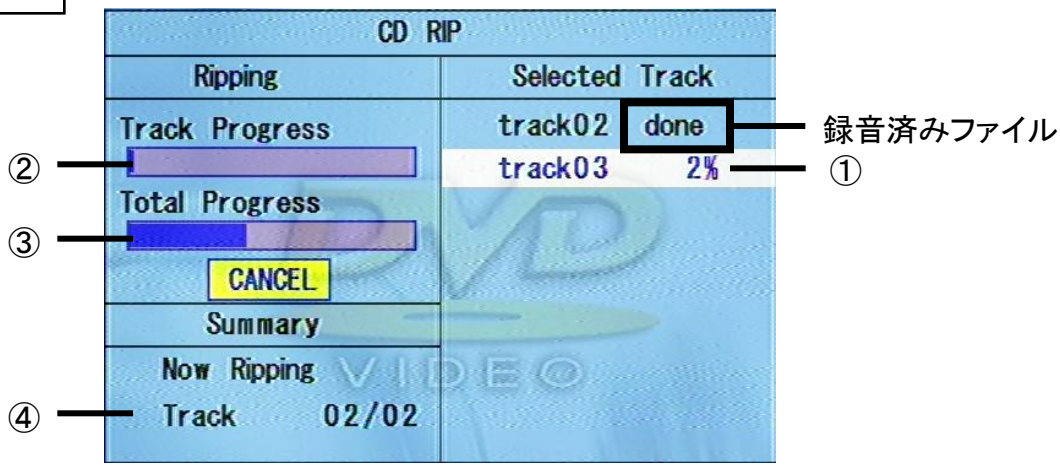
② ビットレート（圧縮率）：決定 ボタンを押すごとに圧縮率が切換えられます。
96k → 112k → 128k→ 192k→256k→320k
この数値が大きいほど、音質はよくなりますが変換後のファイルサイズは大きくなります。

③ ID3 TAG式ファイルを作成します。

④ 録音先を表示します。

⑤ 選んだ曲数を表示します。
⑥ 選んだ曲の再生時間の合計を表示します。
⑦ CDに収録されているトラックリストを表示します。録音したい曲にカーソルをあわせて 決定 を押すと、左に「 ✓ 」が表示されます。すべて選択するには「Sel All」、すべての選択を取り消すには「Sel None」にカーソルをあわせ、決定 を押します。

録音開始



①今録音しているトラックナンバーを表示します。
②トラックごとの録音状況を表示します。
③トータルでの録音状況を表示します。
④選択したトラック数と、現在録音したトラック数を表示します。

録音されたファイルはメディアの「RIP_000」フォルダーに保存されます。
ファイル名は『TRACK001』から録音順番に1つずつ番号が増えていきます。

㊟既に途中まで録音されている曲は、本機が未登録部分を探して録音することができません。
同じ曲でも再度録音する場合には、新しいファイルで保存されます。

●録音が終わると、『録音画面』に戻ります。
終了するには、『Exit』にカーソルをあわせ、 決定 を押してください。

※注意:
・USBメモリーまたはSDカードを接続していることを確認して録音してください。
・録音中や録音画面表示中は振動を与えたり、USBまたはSDカードを抜かないでください。

本機で受信できるテレビ放送

本機では、地上デジタル放送とワンセグ放送を受信することができます。
（地上アナログ放送、BS・110度CSデジタル放送を受信することはできません。）
屋内でお使いになる時は、各部屋にあるアンテナ線を本機に接続して高画質の地上デジタル放送を、外出先でワンセグ放送を、お好きな場所で放送を受信してテレビ番組が楽しめます。

■地上デジタル放送の特徴

地上波のUHF放送（13ch～62ch）の周波数帯域を使った放送です。
最新のデジタル技術を活用することで、高画質（ハイビジョン放送）・多チャンネルのテレビ放送が可能です。また、音声信号を効率よく圧縮して放送することができ、原音に近い高音質な音声が楽しめます。
（ただし、本機では対応していない内容があります。）

■アナログテレビ放送からデジタルテレビ放送への移行について

地上デジタルテレビ放送は、関東、中京、近畿の三大域圏の一部で2003年12月から開始され、その他の都道府県の県庁所在地は2006年末までに放送が開始されました。
今後も受信可能エリアは順次拡大されます。
この放送のデジタル化に伴い、地上アナログテレビ放送とBSアナログテレビ放送は2011年7月24日までに終了することが、国の法令によって定められています。

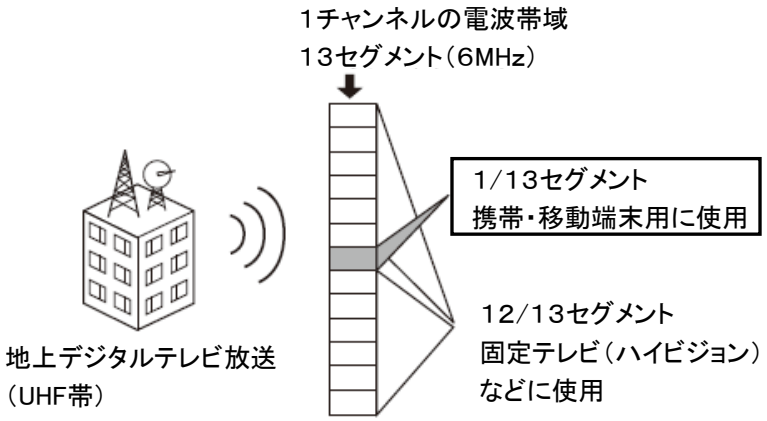
お知らせ

- 地上デジタル放送を受信するには、本機の他に地上デジタル放送の受信に対応したUHFアンテナが必要です。
- CATV（ケーブルテレビ）の受信は、使用する機器ごとにCATV会社との受信契約が必要です。接続やご利用方法については、機器や会社ごとに異なります。ご加入しているCATV会社にお問い合わせください。
- 本機は地上デジタル放送の双方向通信サービスには対応していません。また、本機でペイ・パー・ビュー（PPV)番組を購入することはできません。
- 放送によっては、画面の上下左右に黒い帯が表示されます。

本機で受信できるテレビ放送

■ワンセグ放送の特徴

ワンセグは、携帯機器向け地上デジタルテレビ放送です。1チャンネル（6MHz）の帯域を13セグメントに分割し、そのうちの1セグメントを携帯機器向けに利用していることからワンセグと呼ばれています。



受信状態	**地上アナログ放送より安定して電波を受信できます。**
画質	**携帯機器用の放送のため、多少画質が粗くなったりします。**
受信地域	**放送が開始されたばかりの時は、受信できる地域が限られます。**

●ワンセグは、2006年4月に開始され、地上デジタルテレビの放送地域拡大により順次受信可能なエリアが拡大される予定です。ただし、放送局によってはワンセグが放送されない場合があります。

●ワンセグは、テレビ放送事業者（放送局）などにより提供されるサービスです。

●放送波で放送されるワンセグの映像・音声・データ放送の受信はお申込みが不要な無料のサービスです。

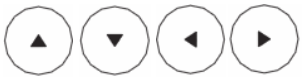
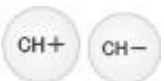
●「ワンセグ」サービスの詳細および受信可能なエリアについては下記ホームページなどでご確認ください。社団法人　デジタル放送推進協会URL：http://www.dpa.or.jp

お知らせ

●ワンセグ放送には、ほとんどの番組にコピー制限があり、番組制作者などの著作権を守るための制御信号を入れて放送しています。本機はコピー制御信号に対応しています。

●放送によっては、画面の上下左右に黒い帯が表示されます。

テレビを見るときに使用するボタン

リモコンボタン	リモコンのはたらき
	TV設定メニュー画面が表示します。
	設定する際に一つ上の項目に戻る時使用します。
	メニューの選択に使用します。
	字幕をオン/オフさせます。
	自動的にチャンネルを検索します。
	チャンネルリストを表示します。
	主音声、副音声の設定をします。
	番組表を表示します。
	ズームアップ放送をします。
	チャンネルを切換えます。

フルセグ放送とワンセグ放送の準備

用意するもの

プレーヤー本体

ACアダプター

リモコン

ケーブル付アンテナ

UHF変換器具

鉄板プレート

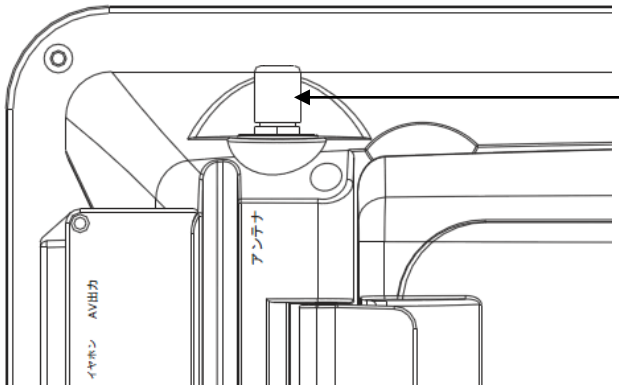
mini B-CASカード

⚠ 注意

水周りでは、ACアダプターを接続してのご使用はできません。
充電をしてから、ACアダプターを外し、端子カバーを「カチッ」という音が聞こえるまで閉めてからご使用ください。

アンテナを接続する

本体上部



本体アンテナ挿入口

ケーブル付きアンテナ（付属品）

2種類のアンテナ【ご自宅のUHFアンテナ・ケーブル付きアンテナ】を接続できますので、使用環境、受信状態によって、使い分けてください。

付属品のケーブル付きアンテナを出し、本体アンテナ挿入口の保護カバーを取ってから、六角部分を本体のアンテナ挿入口に差し込み、右側に固定するまで回してください。

テレビを見る---mini B-CASカードを入れる

mini B-CASカードを入れる

①付属品のminiB-CASカードを出します。
IC面を手前に、印刷面を裏にして
miniB-CASカード端子に差し込みます。
（右記写真参考）

本体右側の背面

miniB-CASカード

②miniB-CASカードを差し込む際、奥へ
カチッという音がするまで入れてください。
（右記写真参考）

本機に同梱されているmini B-CASカードは、
地上デジタル放送の受信や「放送局からのお知らせ」の
受信などに必要です。

mini B-CASカードは常時、本機に挿入しておいてください。

mini B-CASカードの登録のしかたや取扱いについて詳しくは、カードが貼ってある
説明書にご覧ください。

説明書は、よくお読みのうえ、大切に保管してください。

※注意：

●mini B-CASカードスロットにmini B-CASカード以外の物を入れないでください。
故障や破損の原因となります。

●使用中にmini B-CASカードを抜き差ししないでください。

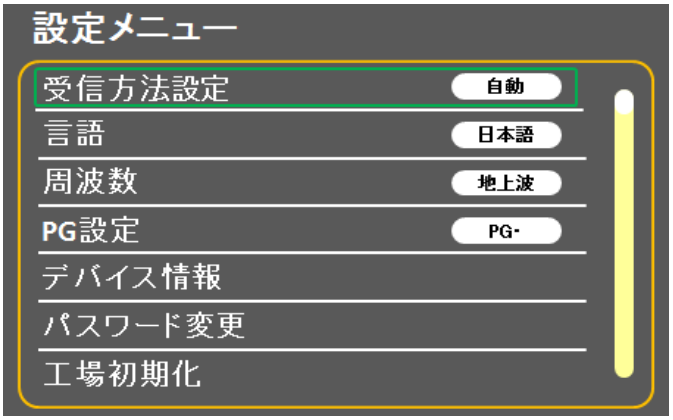
お知らせ

●mini B-CASカードのカード破損、紛失、盗難などの場合、及び本機の廃棄などで
カードが不要になった場合や登録名義を変更する場合は、
（株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズにご連絡ください。
お問い合わせ先については、カードが貼ってある説明書をご覧ください。

フルセグ放送とワンセグ放送を切換える

本製品は受信電波の強弱によってフルセグ放送とワンセグ放送を自動的に切換える機能を採用しています。

また、設定メニュー内の「受信方法設定」(48ページ)にて設定を手動にすることでフルセグ放送とワンセグ放送のどちらかに受信を固定することもできます。



※注意:

・本製品はフルセグ受信が基本設定になっており、受信が不安定になるとワンセグに切り換わります。
切換わる際、一時的フリーズ状態になりますが故障ではございません。

・放送局によっては、フルセグ放送とワンセグ放送で放送している番組が異なっている場合があります。

・車等での走行中はフルセグがつながりにくくなります。

・ワンセグ受信時は画質が粗くなりますが故障ではございません。

・受信エリア内でも電波の転送状態(山や建物等の障害物)で受信が不安定になったり、受信が出来なくなる場所がございます、予めご了承ください。

初回起動時の設定と操作

■受信準備

mini B-CASカードを本体に挿入し、本体に電源を入れ、アンテナを接続してください。

（※mini B-CASカードの挿入方法は45ページを参照してください。）

※注意

アンテナは電波を受信しやすい位置に設置してください。

受信が困難な場合は方向を変えるなどして対応してください。

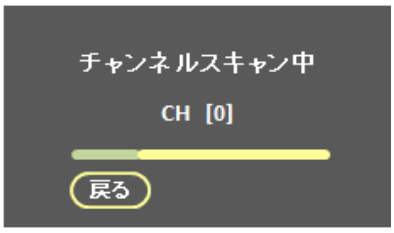
（1）TVを起動する

●リモコンの「 機能切換 」ボタンまたは本体前面の「 M 」を押して、画面の右上に「TV」が表示後、テレビ放送に切り換わります。

（2）放送局をスキャンする

●リモコンの「 GOTO AUTO SCAN 」ボタンを押すと、受信可能な放送を自動的に受信してチャンネルリストに登録します。

オートスキャンを中止する場合、 ■ 停止 TV MENU RETURN を押してください。



●オートスキャンが終わると、受信できた放送局を見ることができます。

▲ ▼ または CH+ CH− ボタンを押し、チャンネルを選択して、視聴してください。

※ ▲ ▼ CH+ CH− **を押してから放送局が切換わるまで5秒ほどかかる場合があります。**

※mini B-CASカードを挿入しなかった場合、【B-CASカードを確認してください】が表示されます。

※・オートスキャンで、受信出来る放送局が見つからない場合は、アンテナの位置や、向きを変えて再度オートスキャンを行ってください。

テレビを見る---初回起動時の設定と操作

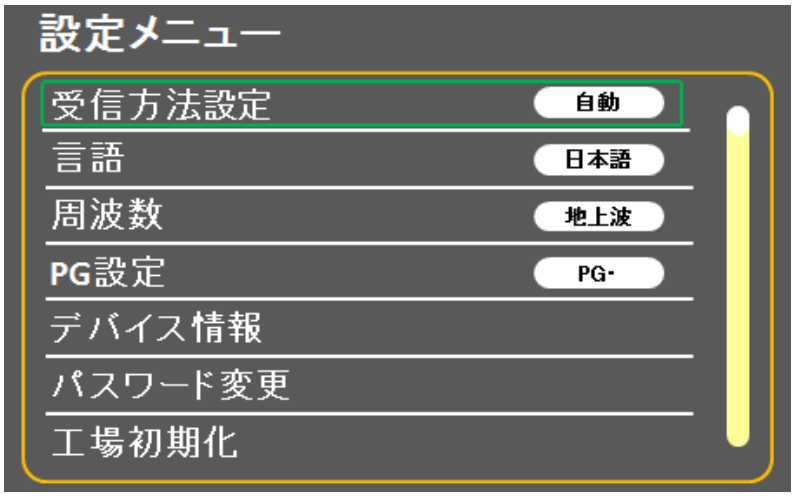
各種の設定

●テレビ視聴中に「 設定 」ボタンを押すと、液晶画面に下記の設定画面が表示されます。

設定する際は「 ▲ ▼ 」ボタンで項目を選択し、「 決定 」ボタンを押し、

「 ▲ ▼ 」ボタンで設定内容を選択し、「 決定 」ボタンを押して決定します。

※一つ上の項目に戻すには、「 停止 TV MENU RETURN 」ボタンを押します。



＊＊＊

①受信方法設定

●自動　●フルセグ優先　●ワンセグ優先　より選択

②言語

●日本語　●英語　より選択

本体の設定する際の言語を日本語か英語に設定します。

③周波数

●ケーブル　●地上波　より選択

④PG設定

視聴制限のレベルを設定します。パスワードの入力が必要となります。

初期パスワードは1111で、4桁数字です。

⑤デバイス情報

デバイス情報（B-CAS情報とバージョン情報）を表示します。

⑥パスワード変更

パスワード変更を設定します。変更したパスワードを忘れないでください。

⑦工場初期化

全ての設定を初期状態にリセットします。パスワードの入力が必要となります。

パスワードが変更された場合、変更後のパスワードを入力してください。

受信できる放送局が見つからない場合

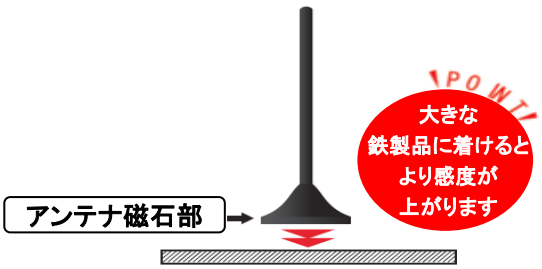
受信感度が弱いため受信が困難な場合、以下の方法で改善することがあります。

窓際で受信する

窓際では受信状況が改善される場合があります。
窓際での受信をお試しください。

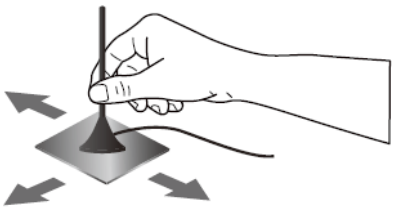
「ケーブル付アンテナ」の下に「鉄板プレート」を装着する

①ケーブル付アンテナは下部が磁石式になっております。鉄製品の物もしくは付属の「鉄板プレート」に装着すると受信感度が上がります。



※付属の鉄板プレートは錆びやすいので水気等は必ず拭き取ってください。

②①の行程でも受信状況が改善されない場合は鉄製の物を装着した状態でアンテナの設置場所を動かしてから、GOTO AUTO SCAN を押してください。



※場所を変える度に GOTO AUTO SCAN を押してください。

受信できる放送局が見つからない場合（つづき）

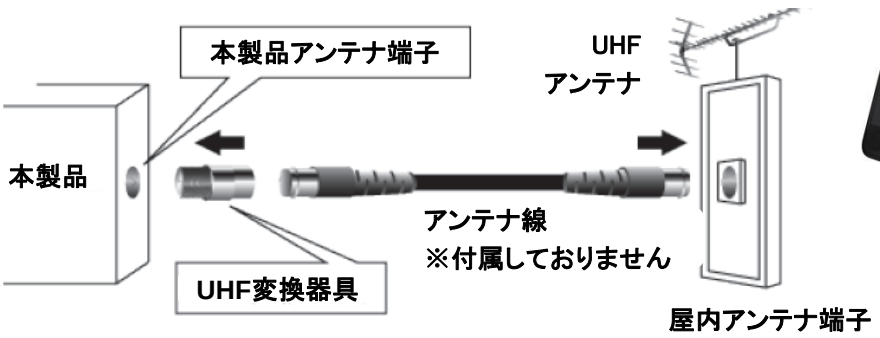
③②の行程でも受信状況が改善されない場合は、場所自体を変えて（窓際・2階等）に移動し、 GOTO AUTO SCAN を押してください。

※場所を変える度に GOTO AUTO SCAN を押してください。

②と③の行程を何度か繰返し行って受信感度の良いところを探してください。

家のアンテナで受信する

電波が届きにくい部屋でも、ご家庭のアンテナにつなげば高感度で受信できます。
付属の「UHF変換器具」を使用して、ご家庭用のアンテナ線をつないでご使用下さい。



設定後、テレビが視聴できる場合は本体のチューナーの不具合ではなく電波状況の問題となり、製品の不具合ではございません。一部地域や受信環境と使用状態によっては受信できない場合がございます。放送エリア内でも、地形や構造物といった周辺環境、本機を使用するアンテナの場所や向き、電波状況によっては受信できないこともあります。

※市販のアンテナ線をお使いください。

車載用バッグの取り付け方

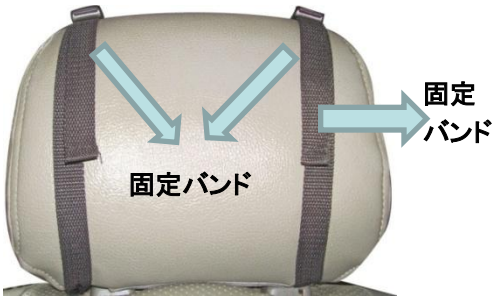
本体

スタンドを押さえた後の状態

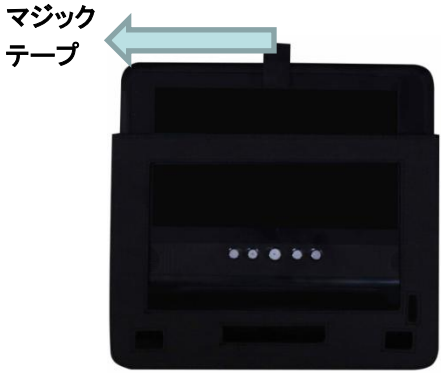
1、立たせた本体背面のスタンドを元に押さえます。

正面

背面



2、ヘッドレストに固定バンドの長さを調節しながら、取り付けてください。



完成

3、マジックテープを開け、本体を車載バッグに入れ、マジックテープを付けてください。
リモコンの受光部に向けてご使用ください。
本体の操作については本取扱説明書をご参照ください。
使用後は外して元の状態にして保管してください。
※放置すると、車内が高温になったりした場合、不具合が起こる場合があります。

故障かな？と思ったら

故障かな？と思った時は、下記の項目をもう一度チェックしてください。
また、一度プレーヤー本体の電源スイッチをオフにしてから、再度起動してみてください。
それでも正常に作動しない場合は、お買い上げの販売店にご相談いただくか、
弊社サポートセンターにご連絡ください。
（各項目の詳細は、この説明書の対応する項目をお読みください）

症状	考えられる原因・確認事項
プレーヤー本体が作動しない	プレーヤー本体の電源ランプが点灯していますか。 点灯していない場合はプレーヤー本体の電源スイッチがONであることと、電源が正しく接続されていることをご確認ください。
	内蔵充電池の電力がなくなっている可能性があります。 しばらく充電してから、再度ご確認ください。
ディスクを再生できない	ディスクに傷や汚れが無いことをご確認ください。
	ディスクのリージョンコードがプレーヤーと合っていない可能性があります。リージョンコードの合わないディスクは再生することができません。
	ディスクを上下逆にセットしていませんか。 印刷のある面が上になるようにディスクカバーにセットしてください。
	視聴制限機能が作動している可能性があります。ディスクの視聴制限の有無と、プレーヤーの設定をご確認ください。
	プレーヤーを冷たい場所から急に暖かいまたは湿気のある場所に移動すると、内部に結露が生じる可能性があります。 電源を抜いて、プレーヤーの温度が室温と同じになり結露した水分が蒸発するまで、しばらく使用しないでください。
	温度が高い所や低い所で使用していませんか。 本製品の使用環境は0℃～40℃です。
	DVD-R/RWディスクの場合、ディスクに「ファイナライズ」という処理を行わないと再生できません。ファイナライズの行い方については、ディスクに録画を行ったDVDレコーダーやPC等の説明書をご確認ください。

故障かな？と思ったら

症状	考えられる原因・確認事項
ディスクを再生できない	DVD-RとDVD-RWディスクの場合は、VRモードで録画が行われている必要があります。
	ディスク固有の問題の可能性があります。他のディスクが再生できるか試してみてください。
プレーヤーがリモコンの操作に反応しない	リモコンの電池がきれていませんか。 新しい電池に交換してみてください。
	リモコンの発信部とプレーヤー本体前面の受光部の間に、信号を遮る物が無いよう注意してください。
	プレーヤー本体の電源ランプが点灯していますか。 点灯していない場合はプレーヤー本体の電源スイッチがONであることと、電源が正しく接続されていることをご確認ください。
	プレーヤー本体前面の受光部が直射日光や強い光にさらされていると、リモコンがうまく動作しない場合があります。 光があたらないようにするか、リモコンの角度を変えたり、受光部に近づいて操作してください。
画像が乱れる、でない	プレーヤーやテレビ/AV機器の電源は入っていますか。
	ディスクに傷や汚れが無いことをご確認ください。
	ディスクは正しくセットされていますか。
	プレーヤーの設定、テレビ/AV機器の設定が正しく設定されていることをご確認ください。
	電波を発生する機器の近くで使用していませんか。
	プレーヤーを冷たい場所から急に暖かいまたは湿気のある場所に移動すると、内部に結露が生じる可能性があります。 電源を抜いて、プレーヤーの温度が室温と同じになり結露した水分が蒸発するまで、しばらく使用しないでください。
	温度が高い所や低い所で使用していませんか。 本製品の使用環境は0℃～40℃です。

故障かな？と思ったら

症状	考えられる原因・確認事項
音声が出ない	消音になっていないかご確認ください。 （消音ボタンを押してみてください。）
	プレーヤーの本体の音量ボタンが最小音になっていないかご確認ください。
アングルの切換ができない	再生しているディスクに、複数のアングルが記録されていない可能性があります。
音声の切換ができない	再生しているディスクに、複数の音声が記録されていない可能性があります。
字幕の切換ができない・消せない	再生しているディスクに、複数の字幕が記録されていない可能性があります。
テレビ・AV機器接続時に画像・音声が乱れる・出ない	プレーヤーの出力端子と、接続している機器の入力端子が正しく接続されていることをご確認ください。
	テレビのチャンネルはプレーヤーからの入力に合っていますか。 テレビの説明書をご参照ください。 （多くのテレビではAUX In、Video In、AV Inなどのチャンネルがビデオ入力です。）
	プレーヤーやテレビの画面や信号に関する設定をご確認ください。
	ケーブルに緩みなどが無いことをご確認ください。
TVモードに切り換わらない	リモコンの「機能切換」ボタンまたは本体の「M」ボタンを押して、TVモードに切り換わるまで数秒要します。 その間は画面が黒いままです。
テレビが映らない （受信できない）	放送の受信地域であることを確認ください。
	アンテナを接続して電波受信できる位置に設置してください。

製品仕様

型番	EB-XS101W
商品名	防水　10.1インチ　フルセグTV搭載　DVDプレーヤー
電源	100-240V　　50/60Hz　　DC　12V
本体サイズ	約285(W)×205(D)×46(H)mm
画面	10.1インチデジタル液晶 16:9 解像度:1024×600
製品重量	約1100g
推奨動作温度	約0～40度
対応フォーマット	DVD、DVD-R/RW(VRモード/CPRM記録ディスク含む)、 MP3、CD、CD-R/RW、JPEG、MPEG4(最大対応解像度:720×576)
受信チャンネル	フルセグ(地上デジタル放送・ワンセグ放送対応) (UHF13～62ch)　CATV　C13～C63
消費電力	15W
出力端子	AV出力端子、イヤホン出力端子
入力端子	AV入力、アンテナ入力端子、mini B-CASカード挿入口
インターフェース	USB2.0(USBメモリーのみ対応　最大8GBまで対応) SDメモリーカード、 SDHCメモリーカード(最大8GBまで対応)
スピーカー出力	1.5W×2
充電バッテリー	7.4V　2000mAh
充電再生時間	充電時間:　約4時間　/　再生時間:　約2時間 ※充電再生時間は環境により変化する場合があります。
付属品	取扱説明書、リモコン、ACアダプター 、ケーブル付きアンテナ、 鉄板プレート、車載用バッグ、イヤホン、AVケーブル、 車載用DCアダプター、UHF変換器具、mini B-CASカード

※仕様は製品の改善・品質向上のため予告無く変更される場合があります。

※注意:

●SDカード・USBメモリーの機種、メーカー、年式等によっては正しく動作しない場合がございます。

●DVD-R/RW、CD-R/RWはデイスクの状態や記録状態、記録機器の状態によっては再生できない場合があります。

保証条件の内容

保証期間は、お買い上げの日から1年間（本体）です。※付属品は除きます。

保証期間内でも以下の場合は有料修理となります。ご確認ください。

●下記の事項

1、誤った使用、不当な修理、改造、分解で生じた故障または損傷
2、お買い上げ後の落下、故意による破損、輸送等で生じた故障または損傷
3、火災、天災地変、塩害、異常電圧、指定外電圧使用、等での生じた故障、損傷
4、本書の提示がない場合
5、本書にお買い上げ日、お客様名、販売名、の記入がない場合
6、一般家庭用以外（業務用、または異常な連続使用）にご使用の場合による
　損傷、故障
7、使用時に起きる傷、色あせ、汚れ、または保管の不備で起きた損傷
8、消耗部品の交換
9、本体を水没させた場合
10、本体の外観を破損させた場合
11、長時間連続再生を行い故障した場合
12、本体に必要以上に水をかける続けた場合
13、オープントレー等、開閉した状態で水を混入させた場合
14、その他、意図的に破損故障などさせた箇所が見受けられた場合
15、風呂場、キッチンなど水回りでバッテリー以外で使用した場合

●本書（保証書）は日本国内において有効です。

商品の修理、検査依頼、万が一の初期不良、不具合、商品説明、
操作方法、荷物確認などの問題が発生した場合は下記電話番号へ

サポートダイヤル

050-5812-0253

宮城県仙台市宮城野区扇町　1-7-45

［受付時間］平日　9:00～12:00　13:00～17:00（土・日・祝日は除く）

電話集中している場合は、通話が繋がり難い、繋がらない場合もございます。再度、お時間をおいてお掛け直しくださいますようお願い致します。

商品保証書

【商品名】　防水10.1インチフルセグTV搭載DVDプレーヤー
【型　番】　EB-XS101W

お買上日	年　月　日	保証期間	1年間（本体のみ）
お客様ご住所	TEL：		
お客様お名前	様		
販　売　店	印		

お買い上げいただきまして誠に有難うございます。この保証書はお客様の通常のご使用により万一故障した場合には、本書記載内容で無料修理をお約束するものです。

- この保証書をお受取になる時に販売年月日、販売店、取扱者印が記入してあることをご確認下さい。
- 本保証書は再発行いたしませんので、紛失されないよう大切に保管ください。

X-STYLE

TEL:050-5812-0253

X-STYLE

この製品についてのお問い合わせ、修理の
ご依頼は下記にご連絡ください。

商品の修理、検査依頼、万が一の初期不良、不具合、商品説明、
操作方法、荷物確認などの問題が発生した場合は下記電話番号へ

サポートダイヤル

050-5812-0253

宮城県仙台市宮城野区扇町　1-7-45

[受付時間]平日　9:00～12:00　13:00～17:00(土・日・祝日は除く)

電話集中している場合は、通話が繋がり難い、繋がらない場合もございます。再度、お時間をおいてお掛け直しくださいますようお願い致します。